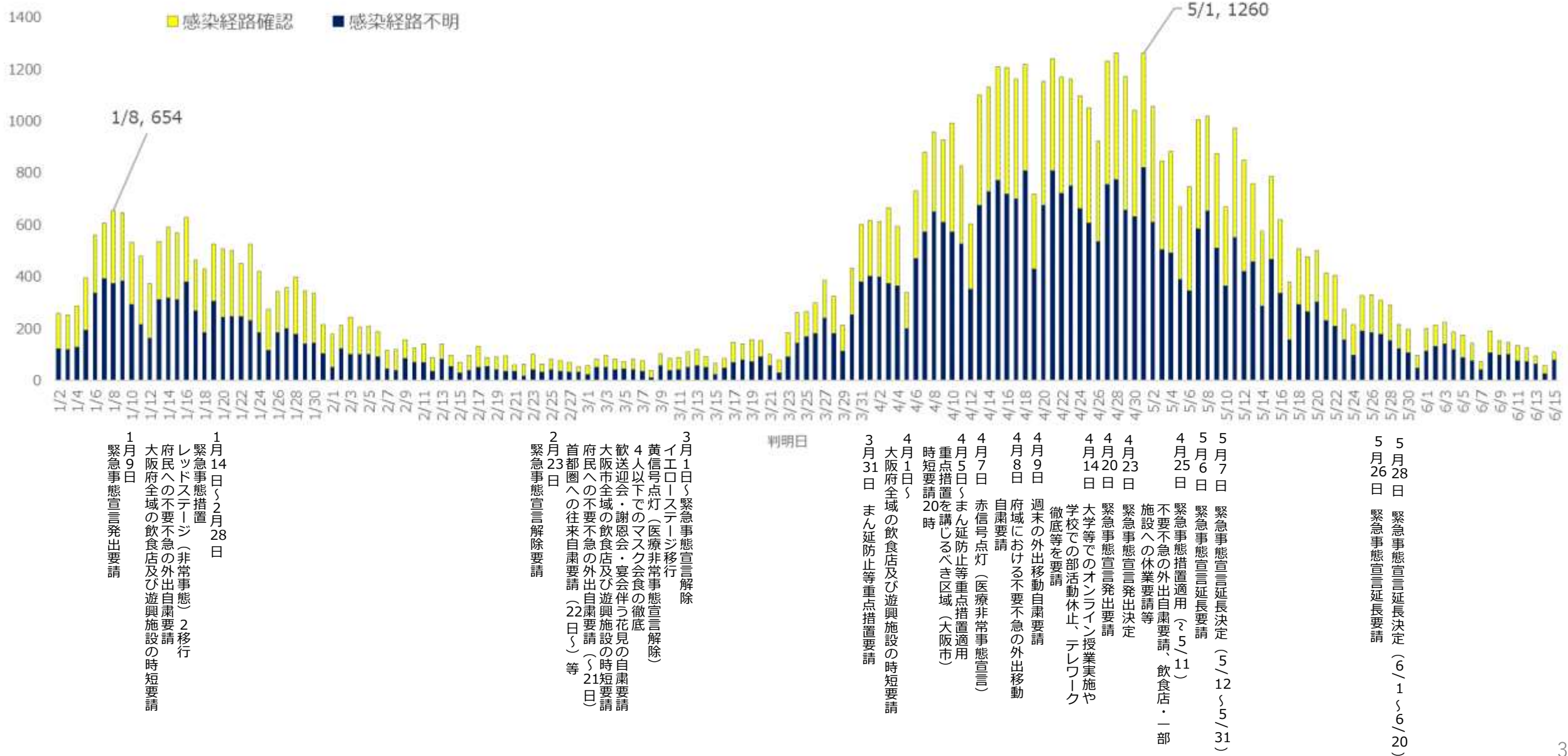


- | | | |
|---|------------|--------|
| 1 | 陽性者数等の推移 | P2~17 |
| 2 | 市内・市外の比較 | P18~22 |
| 3 | 年代・居住地別の比較 | P23~27 |
| 4 | 感染経路 | P28~31 |
| 5 | 感染エピソード | P32~41 |

1 陽性者数等の推移

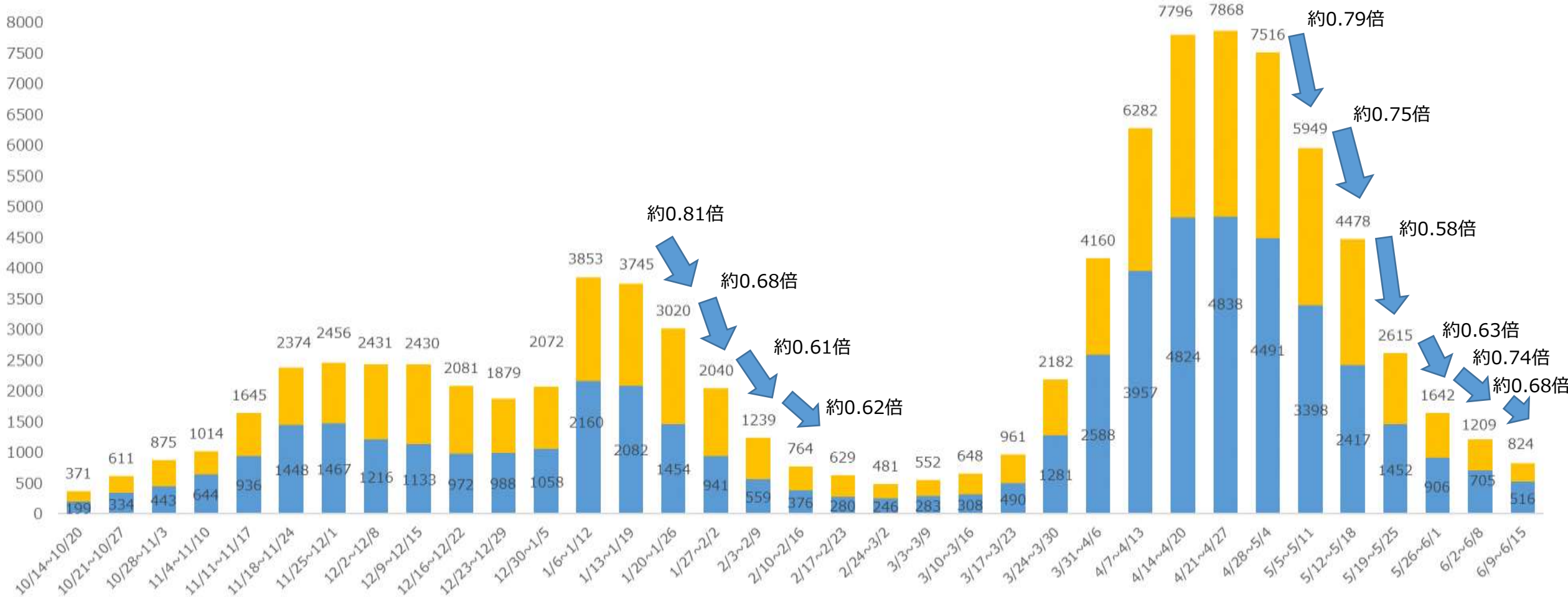
陽性者数の推移



7日間毎の新規陽性者数

直近3週間は、減少幅がやや鈍化の傾向。一日平均約117名の新規陽性者が発生。

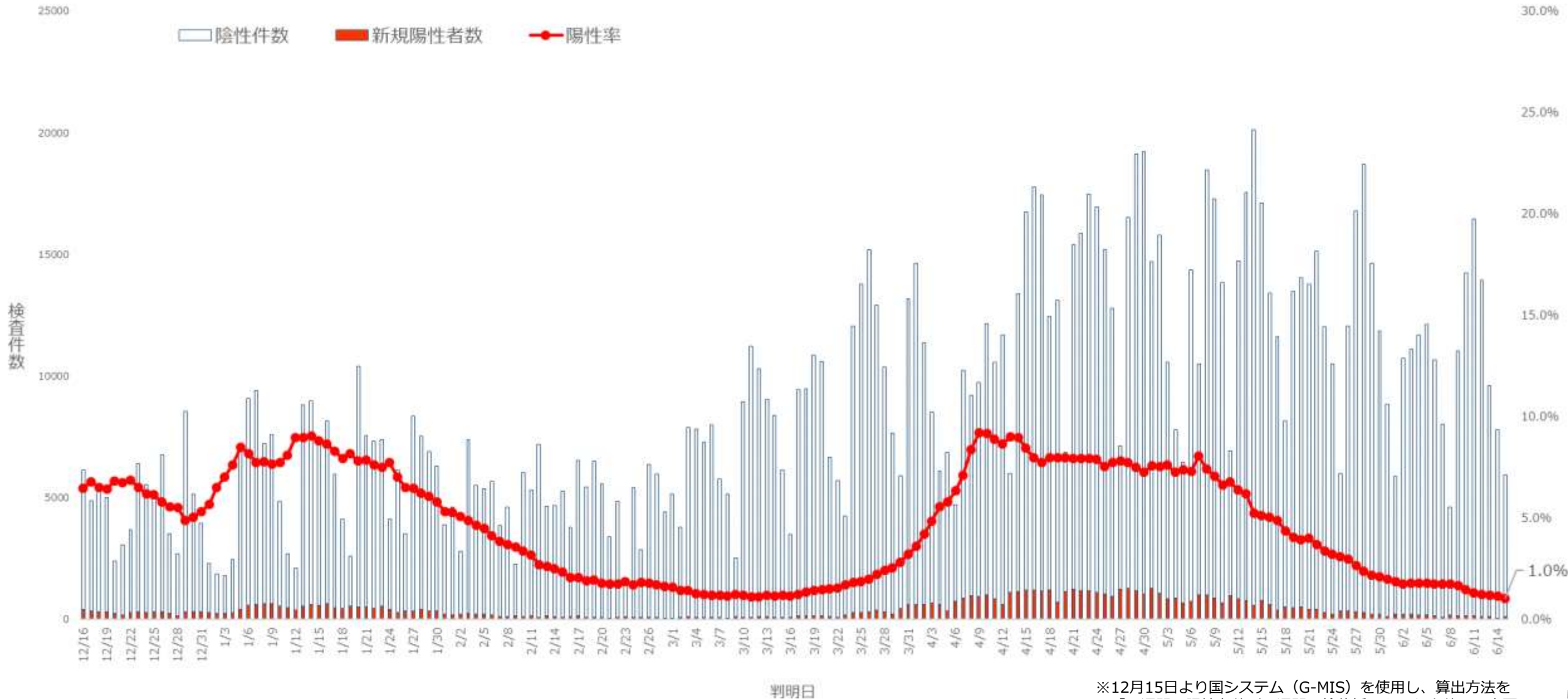
■ 感染経路不明 ■ 感染経路確認



検査件数と陽性率

4月9日・10日をピークに陽性率は低下。

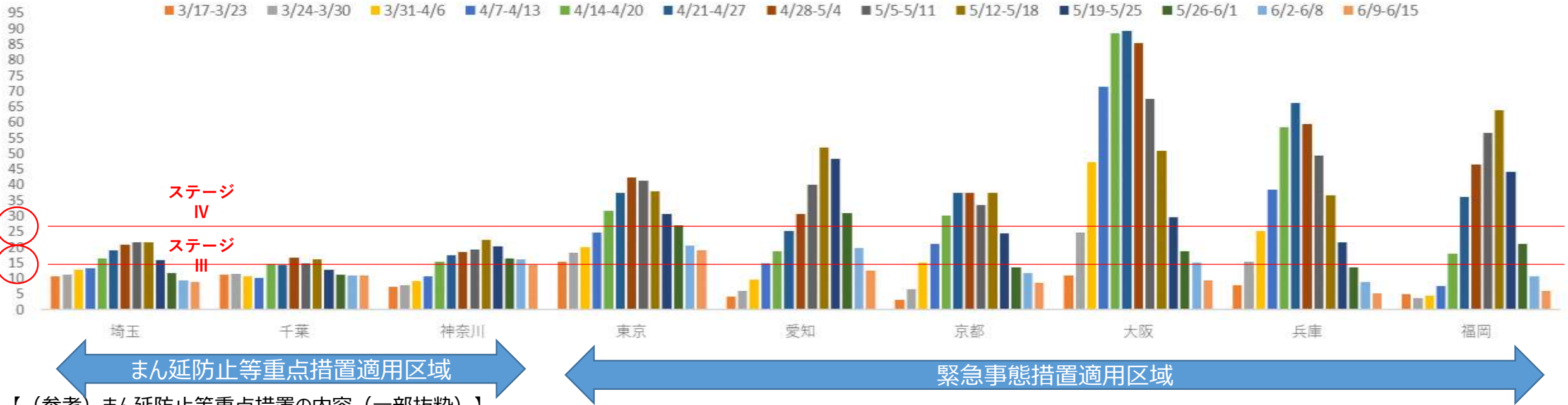
(人分)



※12月15日より国システム (G-MIS) を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数 / 1週間の検体採取をした人数」に変更

第四波緊急事態宣言発令区域（一部都道府県） 週・人口10万人あたり新規陽性者数

◆ 緊急事態措置適用区域の東京都、愛知県、関西2府1県、福岡県は、措置適用後、新規陽性者数が比較的大きく減少。

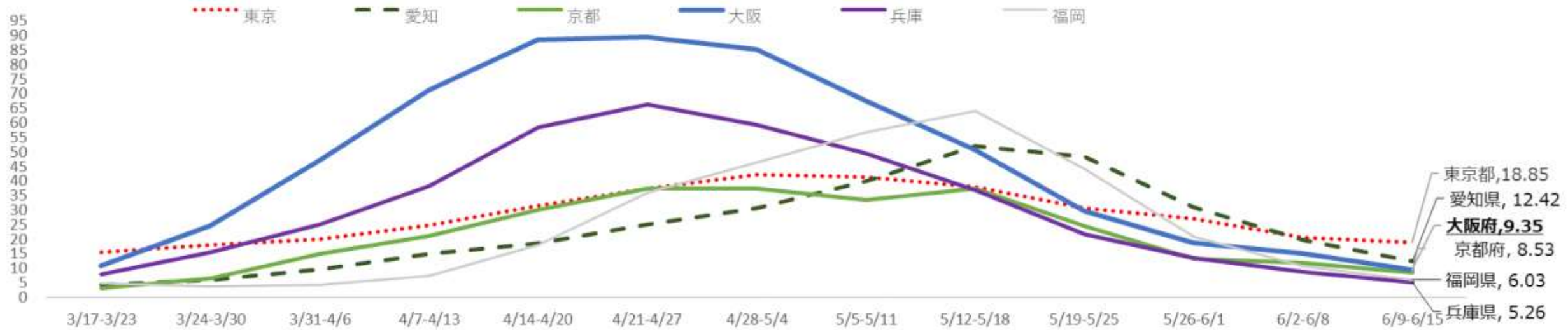


【（参考）まん延防止等重点措置の内容（一部抜粋）】

		まん延防止等重点措置適用区域		
		埼玉県	千葉県	神奈川県
飲食店	措置区域	時短20時（酒類終日自粛）	時短20時（酒類終日自粛）	時短20時（酒類終日自粛）
	措置区域外	時短21時（酒類終日自粛） ※一人または同居家族との場合は20時まで可	時短21時まで （酒類11時～20時）	時短21時まで（酒類11時～20時）
施設	措置区域	時短要請等（20時）・酒類終日自粛	時短要請等（20時）・酒類終日自粛	時短要請等（21時）
	措置区域外	時短協力依頼要請等（21時）・酒類終日自粛	時短協力依頼要請等（21時）・酒類11時～20時	時短協力要請等（21時）
外出自粛		生活に必要な場合を除く、日中を含めた外出の自粛		

第四波緊急事態宣言発令区域（一部都道府県） 週・人口10万人あたり新規陽性者数

- ◆ 3月以降、関西2府1県は感染が急拡大したが、東京都は関西圏と比較すると感染拡大が抑えられた。愛知県、福岡県は、4月末以降感染が急拡大。
- ◆ 他府県と比べ、関西2府1県は、3月上旬より変異株が本格的に置き変わり始めた。



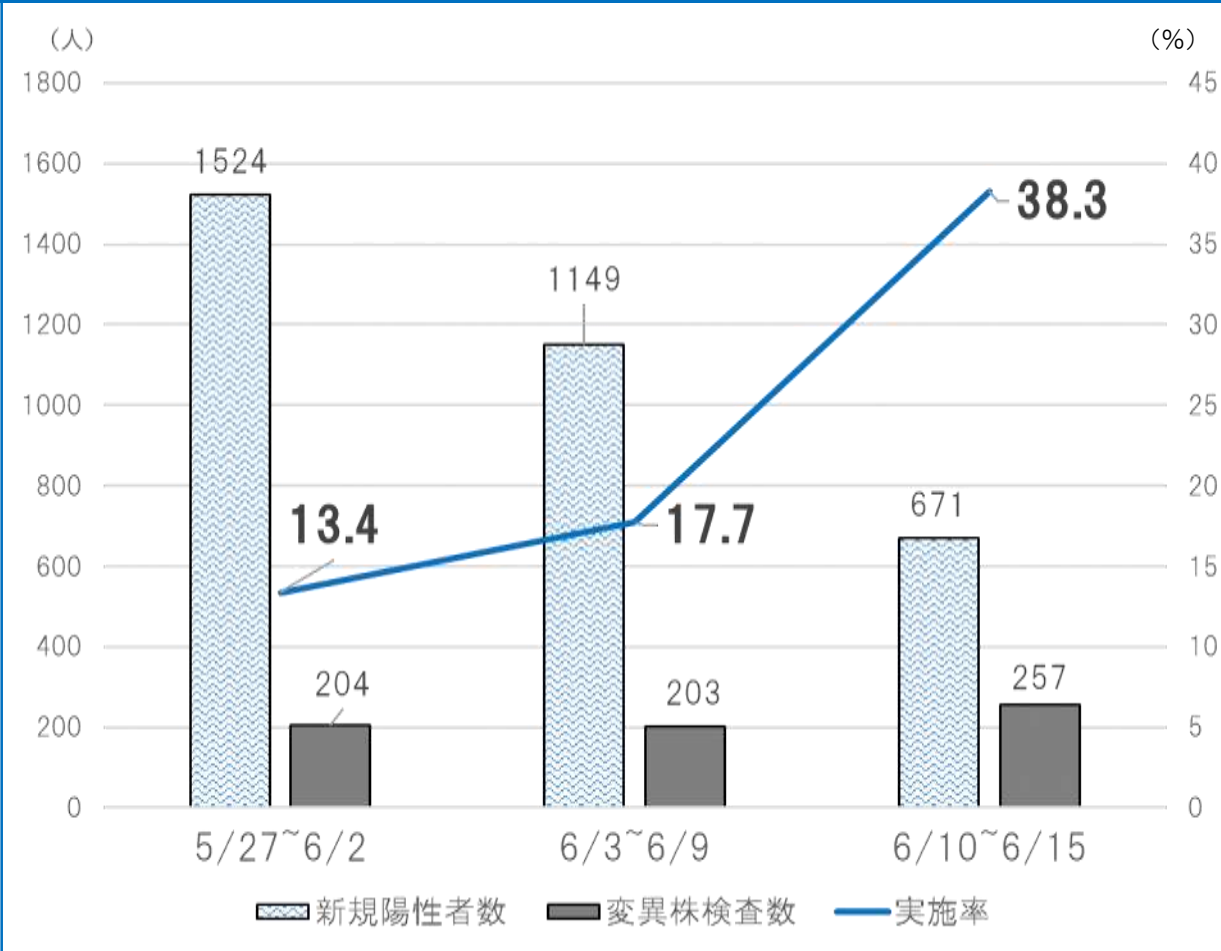
変異株置き換わりの割合	都府県	3月上旬	4月上旬	5月上旬	6月上旬
	東京都	—	約0.25	約0.75	約1.00
	大阪府	約0.25	約0.75	約1.00	約1.00
	京都府	約0.25	約0.75	約1.00	約1.00
	兵庫県	約0.25	約0.75	約1.00	約1.00
	愛知県	約0.20	約0.50	約0.85	約1.00
	福岡県	—	約0.25	約1.00	約1.00

(※) 501Y変異検出数／501Y-PCRスクリーニング件数（第38回アドバイザリーボード資料3-2を元に記載）。割合は大阪府が資料より推定したものであり、正確を期すものではない。

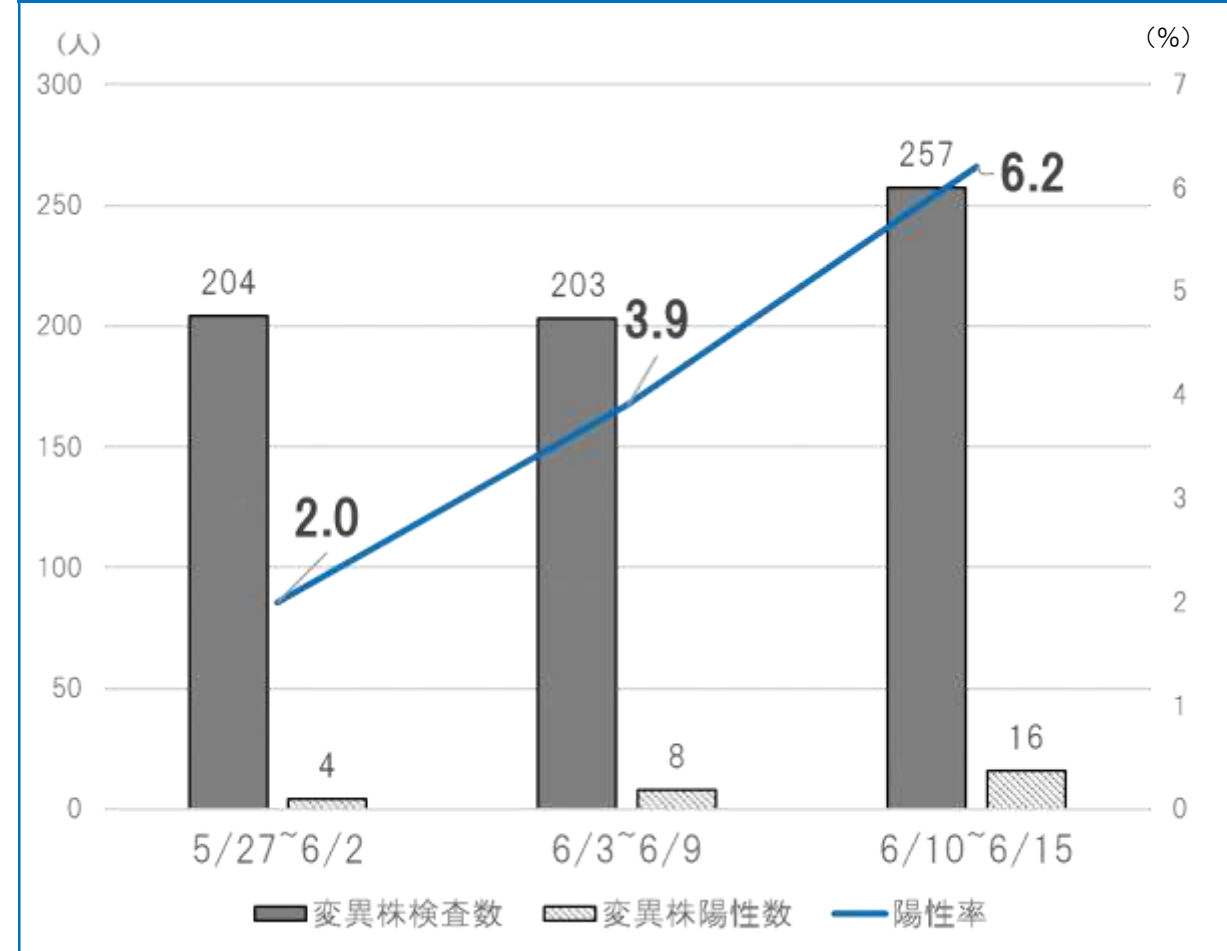
L452R変異株スクリーニングの実施率及び陽性率

○一般財団法人阪大微生物病研究会でのスクリーニングが始まった5月下旬から1週間毎に集計。（国が委託する大手民間検査機関分も含む）
 新規陽性者及びスクリーニング陽性数は当該週の公表数、スクリーニング検査数は当該週に結果判明した件数として、実施率及び陽性率を算出。

新規陽性者数及びスクリーニング検査数（実施率）



スクリーニング検査数と陽性数（陽性率）



※6/10~6/15の週は、6日間の集計値。

※スクリーニング検査数には、インド等への渡航歴がある者やデルタ株等陽性患者との接触歴がある者の検査数を含む。

大阪府 週・人口10万人あたり新規陽性者数の推移と措置

- ◆ 大阪府では、まん延防止等重点措置適用要請時点でステージⅣ（25人）を上回り、措置適用時は40人を超過。措置の効果が表れる2週間後に新規陽性者数が横ばいとなったことから、まん延防止等重点措置は増加を抑制する効果はあったものの、減少には至らず。
- ◆ 緊急事態措置適用後、新規陽性者数は急減。



2/23-3/1	3/2-3/8	3/9-3/15	3/16-3/22	3/23-3/29	3/30-4/5	4/6-4/12	4/13-4/19	4/20-4/26	4/27-5/3	5/4-5/10	5/11-5/17	5/18-5/24	5/25-5/31	6/1-6/7	6/8-6/14
3/1～ 大阪市内 に時短要請（21時まで）															
					4/5～ まん防外（市外） に時短要請（21時まで）										
					4/1～4/4 府全域 に時短要請（21時まで）					4/25～緊急事態措置（ 府全域 ）に休業等要請					
					4/5～ まん防（市内） に時短要請（20時まで）										

【主な要請内容】

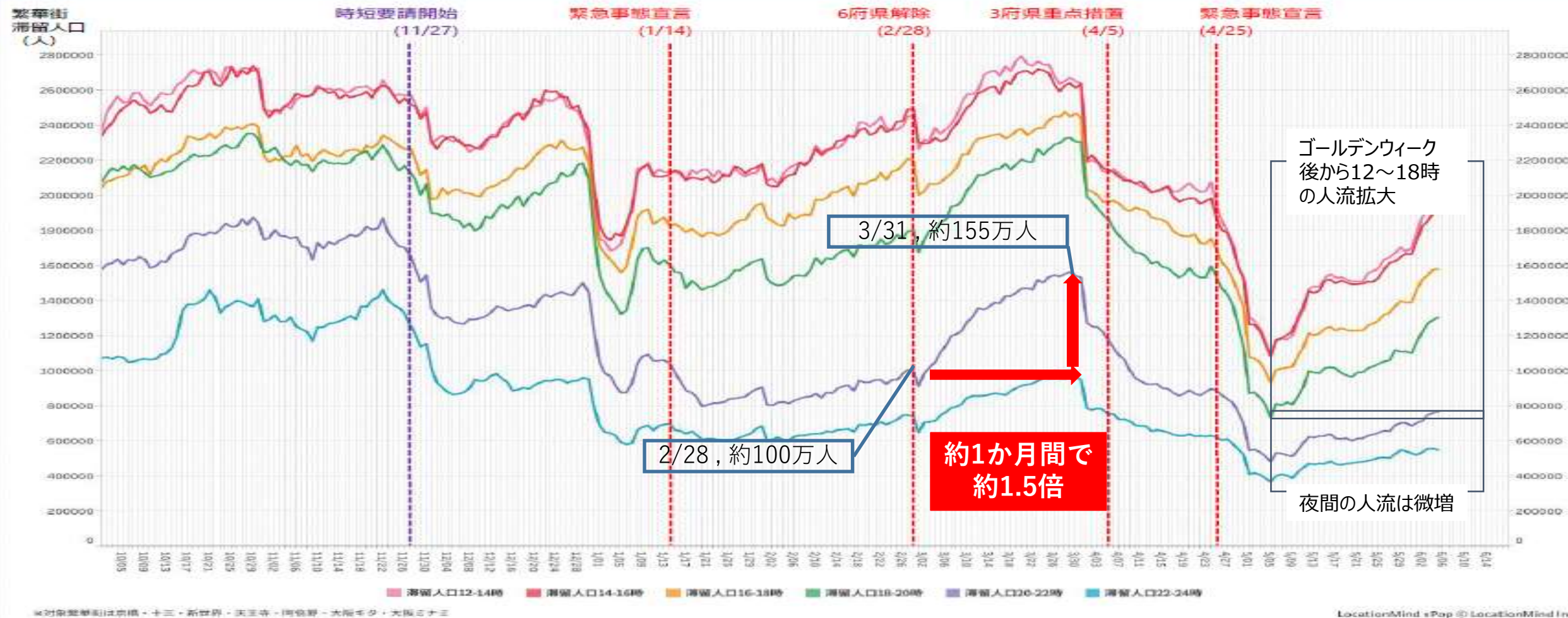
	まん延防止（4/5～）【市内】	緊急事態措置（4/25～5/31）【府域 以下同】	緊急事態措置（6/1～6/20）
飲食店	○時短要請等（20時）	○酒類・カラオケ提供：休業要請 ○酒類・カラオケ提供無：時短要請等（20時）	○左記に同じ
飲食店以外の施設	○時短協力依頼等（20時）	○1000㎡超：休業要請 ○1000㎡以下：時短協力依頼等（20時）	○1000㎡超：平日 時短要請等（20時） 土日 休業要請 ○1000㎡以下：時短協力依頼等（20時）
イベント	○上限5000人かつ収容率50%（大声あり）等	○無観客開催要請	○平日 上限5000人かつ収容率50%、時短(21時) ○土日 無観客開催要請

第三波以降の大阪府の人流の変化

- ◆ 大阪府は緊急事態宣言終了後、約1か月間かけて約1.5倍に拡大し、この間、人流が活発に交流。
- ◆ ゴールデンウィーク以降、昼間から18時までの人流が急増。

時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：大阪（2020年10月1日～2021年6月6日）

緊急事態4/25-



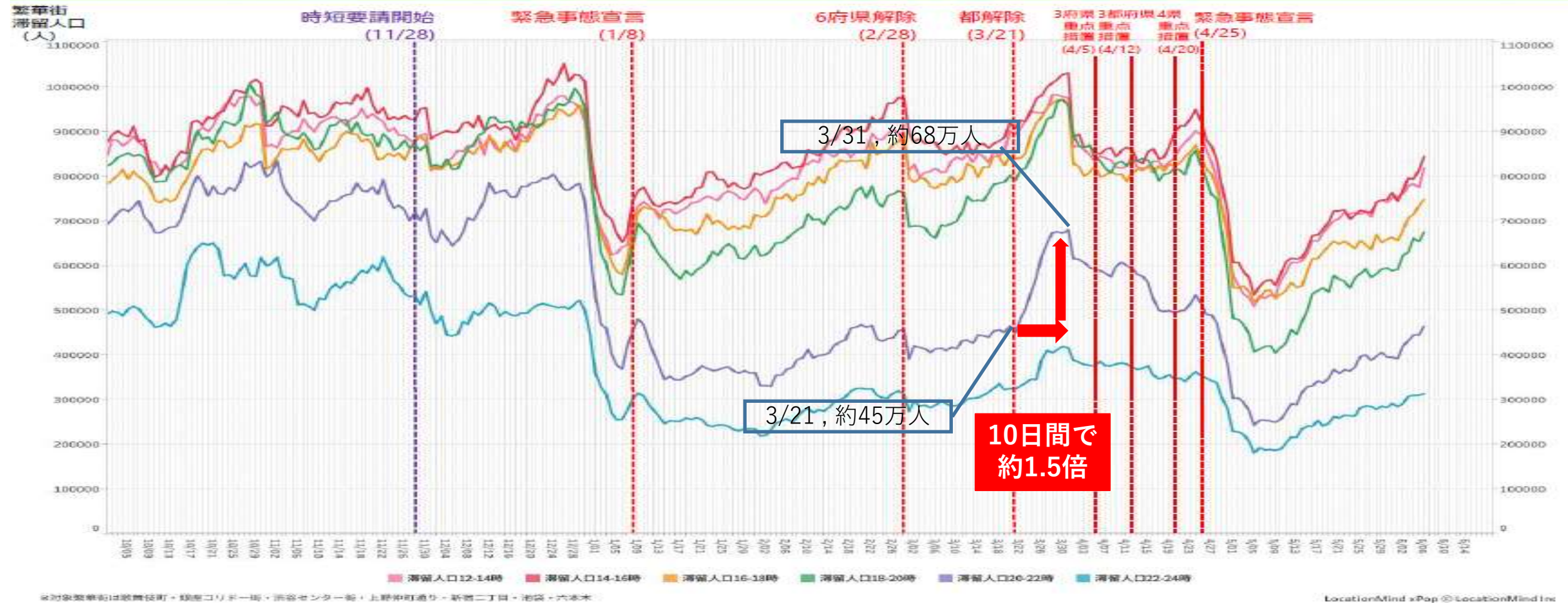
第38回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料3-4より抜粋。繁華街滞留人口は、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報をNTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。主要繁華街にレジャー目的で移動・滞留したデータを抽出。数値は大阪府が資料より推定したものであり、正確を期すものではない。

【参考】東京都の人流の変化

◆ 東京都は、3月21日緊急事態宣言終了後、10日間で約1.5倍に人流が拡大。

時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：東京（2020年10月1日～2021年6月6日）

緊急事態4/25-



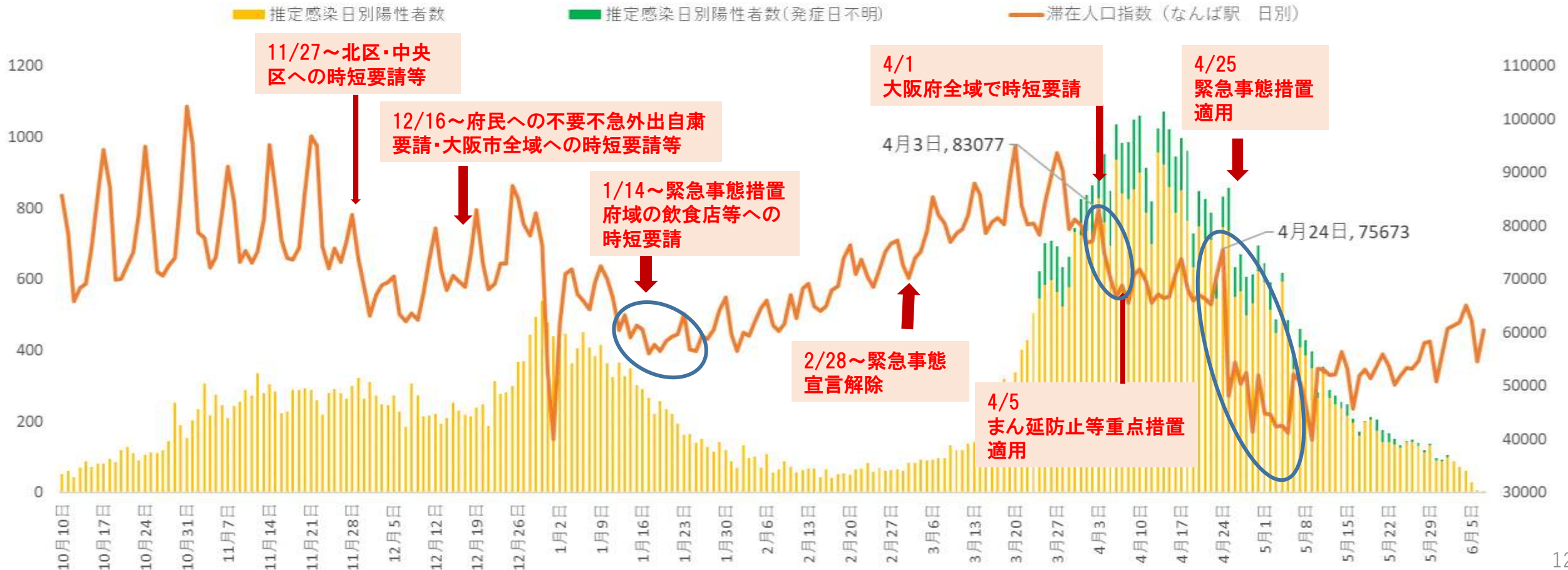
第38回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料3-4より抜粋。繁華街滞留人口は、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報をNTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。主要繁華街にレジャー目的で移動・滞留したデータを抽出。
数値は大阪府が資料より推定したものであり、正確を期すものではない。

推定感染日別陽性者数と人流について【日別 6月14日時点】

- ◆ 第三波の緊急事態宣言発令直後と比べ、人流抑制による感染収束を目的として措置を強化している第四波は、措置適用4月25日以降、人流が大きく減少し、減少している期間が比較的長い。
なお、4月5日のまん延防止等重点措置適用直前に人流は減少したが、すぐに横ばいに転じた。
- ◆ ゴールデンウィーク後、人流は増加傾向（2月下旬の緊急事態宣言解除前と同様の傾向）。

感染から発症まで6日、発症から陽性判明まで7日と仮定すると、概ね6/2～6/14の期間は、今後、新規陽性者の発生に伴い、増加。

人流は、駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウントしており、前述のアドバイザーボードの人流データとは異なる。【出典：株式会社Agoop】

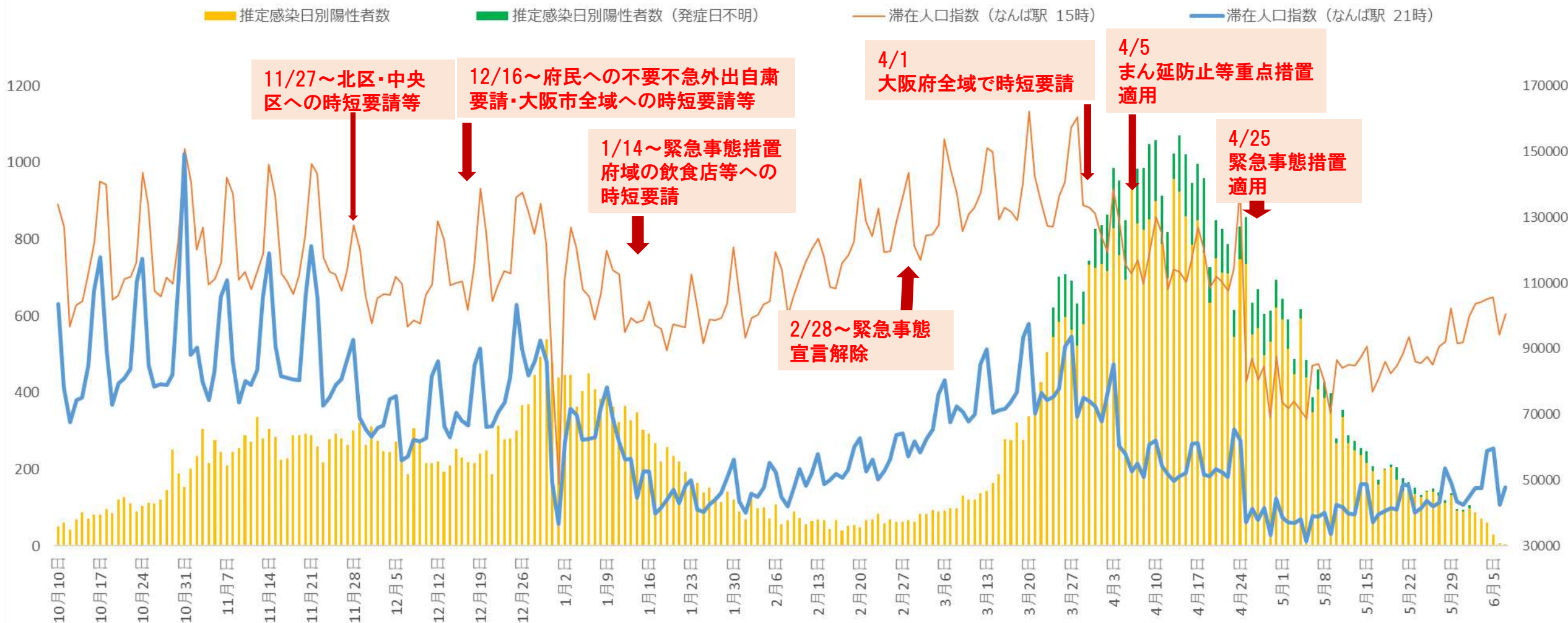


推定感染日別陽性者数と人流について【昼間・夜間 6月14日時点】

◆ 人流は昼間・夜間ともに同傾向で推移。

感染から発症まで6日、発症から陽性判明まで7日と仮定すると、概ね6/2～6/14の期間は、今後、新規陽性者の発生に伴い、増加。

人流は、駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウントしており、前述のアドバイザーボードの人流データとは異なる。【出典：株式会社Agoop】

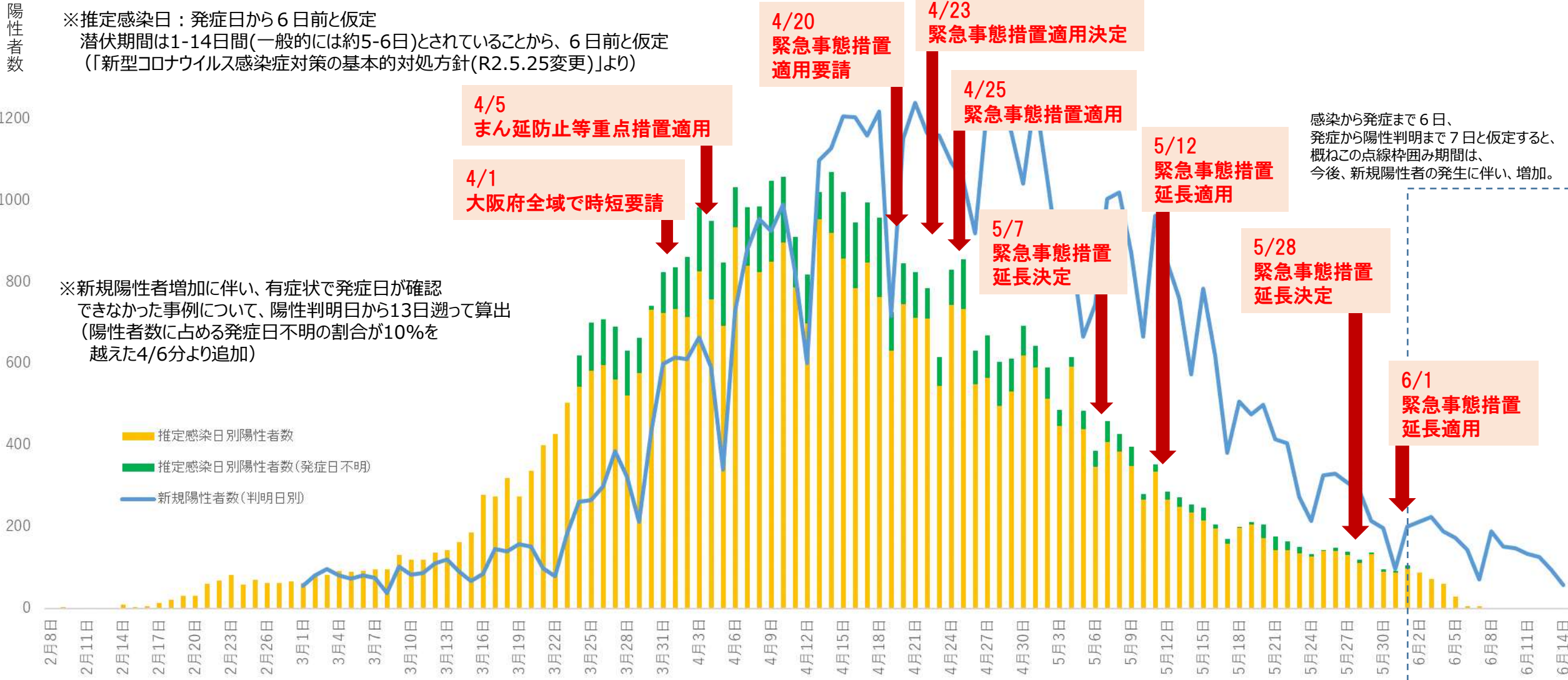


【第四波】推定感染日別陽性者数

推定感染日別陽性者は4月中旬以降、減少。

(ただし、4月6日以降、発症日不明の割合が10%を超過したことから、発症日不明の新規陽性者については、仮定に基づく推定のもと、計上。)

(3月1日以降6月14日までの判明日分) (N=45,904名(調査中、無症状8,805名を除く))



「大阪モデル」モニタリング指標の状況

病床のひっ迫状況は改善傾向。重症病床使用率（224床で算出）は、59.4%まで減少。

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	現在の状況
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	—	0.79	0.77	0.75	0.77	0.78	0.77	0.73	5/4以降1を下回り、減少傾向
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均		—	—	10人未満	96.00	90.14	84.14	81.86	80.00	77.86	73.71	5/3以降、減少傾向
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—	64.7%	68.2%	57.5%	57.9%	64.6%	45.6%	70.9%	概ね40～60%台で推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ 後半3日間で半数以上	—	—	—	1149	1071	1016	968	919	904	824	5/3以降、減少傾向
	うち後半3日間		415	491	435	408	356	279	263				
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満	13.03	12.15	11.53	10.98	10.43	10.26	9.35	5/3以降、減少傾向
	【参考②】陽性率（7日間）	—	—	—	—	1.7%	1.5%	1.3%	1.2%	1.2%	1.2%	1.0%	5/8以降、減少傾向
(3) 病床等のひっ迫状況	⑤患者受入重症病床使用率 ※使用率の分母は224床（運用率）	—	70%以上 （「警戒（黄色）」信号が点灯した日から起算して25日以内）	7日間連続 60%未満	60%未満	79.9% (50.0%)	69.2% (43.3%)	66.5% (41.5%)	63.8% (39.8%)	63.4% (39.6%)	60.7% (38.7%)	59.4% (37.8%)	5/15に60%を下回った
	【参考③】患者受入軽症中等症病床使用率	—	—	—	—	34.7%	34.1%	33.0%	31.8%	32.2%	33.1%	28.8%	5/6以降、減少傾向
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—	7.4%	7.6%	7.8%	7.1%	7.2%	7.2%	6.6%	5/3以降、減少傾向

- ・大阪モデルの重症病床使用率は、緊急事態措置期間中は224床で算出（5/28 第51回本部会議決定事項）。重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除く。
- ・括弧内は、病床確保計画の確保病床数を分母として算出。

4/20 緊急事態宣言発令要請を決定（第46回対策本部会議）
 4/23 緊急事態宣言発令決定、府としての措置を決定（第47回対策本部会議）
 5/6 緊急事態措置延長要請を決定（第48回対策本部会議）
 5/7 緊急事態措置延長決定、府としての措置を決定（第49回対策本部会議）
 5/25 緊急事態措置延長要請を決定（第50回対策本部会議）
 5/28 緊急事態措置延長決定、府としての措置を決定（第51回対策本部会議）

新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

感染の状況を示す指標は、感染経路不明の割合以外、ステージⅢを下回っている。

また、医療のひっ迫具合を示す指標は、確保病床占有率及び重症病床確保病床占有率がステージⅣの基準を下回っている。

※国定義により、HCU等病床数及び患者数を含む

指標		ステージⅣ 目安	ステージⅢ 目安	3/1 緊急事態措置解除	4/25 緊急事態措置適用	5/12 緊急事態措置延長	6/1 緊急事態措置延長	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/15時点の ステージⅣの目安に 対する状況	6/15時点の ステージⅢの目安に 対する状況	
医療提供体制等の負荷	医療のひっ迫具合	①確保病床占有率	50%以上	20%以上	30.4% (601/1,978)	88.7% (1,882/2,122)	80.2% (2,087/2,603)	52.6% (1,410/2,680)	36.8% (990/2,693)	35.3% (955/2,703)	34.1% (923/2,704)	32.9% (889/2,704)	33.2% (898/2,704)	33.8% (912/2,696)	29.9% (808/2,698)	○	●
		②入院率	25%以下	40%以下	56.1% (601/1,072)	11.3% (1,882/16,692)	9.6% (2,087/21,812)	16.8% (1,410/8,411)	15.4% (990/6,436)	15.6% (955/6,124)	15.8% (923/5,854)	15.8% (889/5,641)	16.2% (898/5,539)	17.2% (912/5,313)	19.9% (808/4,066)	●	●
		③重症病床確保病床占有率	50%以上	20%以上	35.0% (143/408)	73.1% (386/528)	67.5% (500/741)	42.8% (339/792)	30.3% (244/804)	27.4% (220/804)	26.6% (214/805)	25.8% (208/805)	25.7% (207/805)	25.2% (201/797)	24.8% (198/798)	○	●
		④人口10万人あたり療養者数	30人以上	20人以上	12.16	189.36	247.44	95.42	73.01	69.47	66.41	63.99	62.84	60.27	46.13	●	●
感染の状況	⑤陽性率 1週間平均	10%以上	5%以上	1.6%	7.5%	6.4%	1.9%	1.7%	1.5%	1.3%	1.2%	1.2%	1.2%	1.0%	○	○	
	⑥直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	25人以上	15人以上	5.67	86.08	69.61	18.63	13.03	12.15	11.53	10.98	10.43	10.26	9.35	○	○	
	⑦感染経路不明割合 1週間平均	50%以上	50%以上	47.4%	61.3%	56.1%	56.0%	58.5%	58.9%	58.0%	59.2%	60.9%	60.3%	62.6%	●	●	

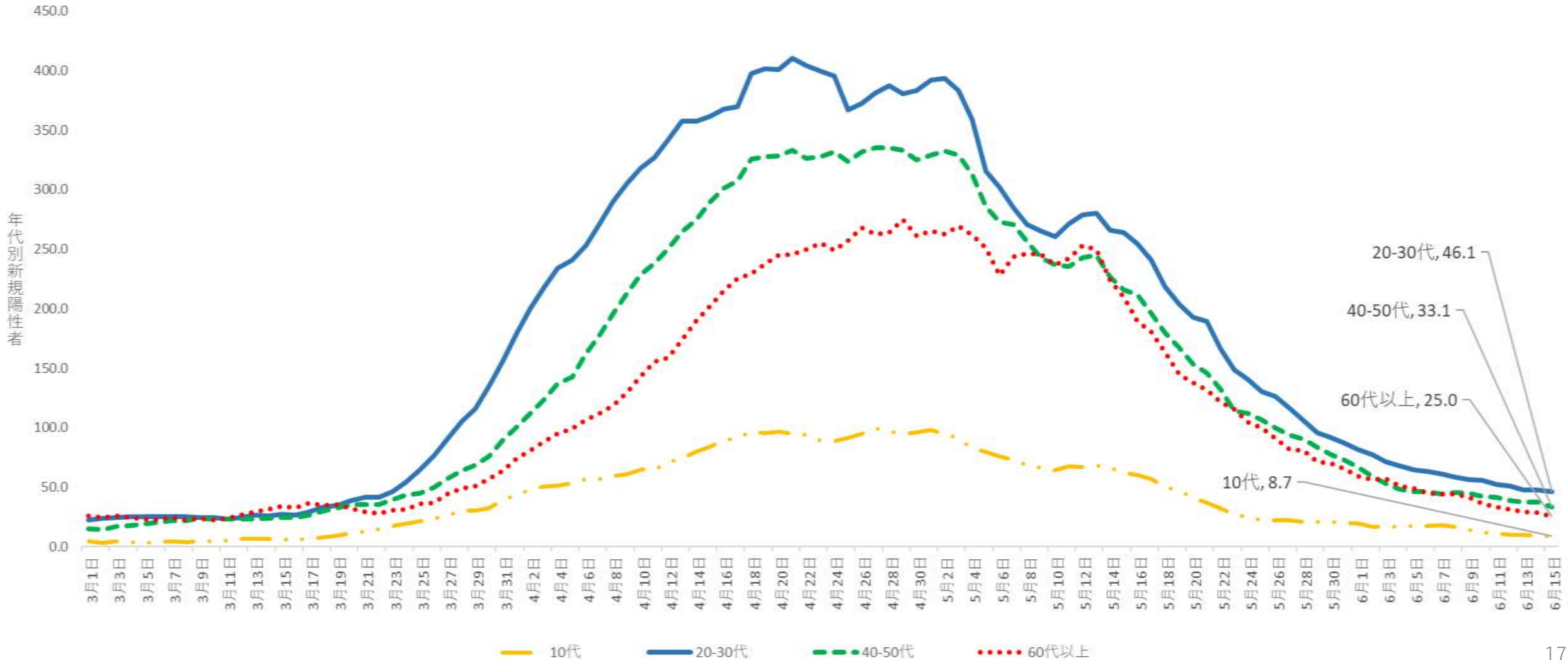
入院率は、人口10万人あたり療養者数が10人以上の場合に適用する。ただし、新規陽性者が発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院している場合には適用しない。
重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除く。

3/1 緊急事態措置解除
4/25 緊急事態措置適用
5/12 緊急事態措置延長
6/1 緊急事態措置延長

●：基準外 ○：基準内

年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（日別）

各年代で新規陽性者数（7日間移動平均）が減少。

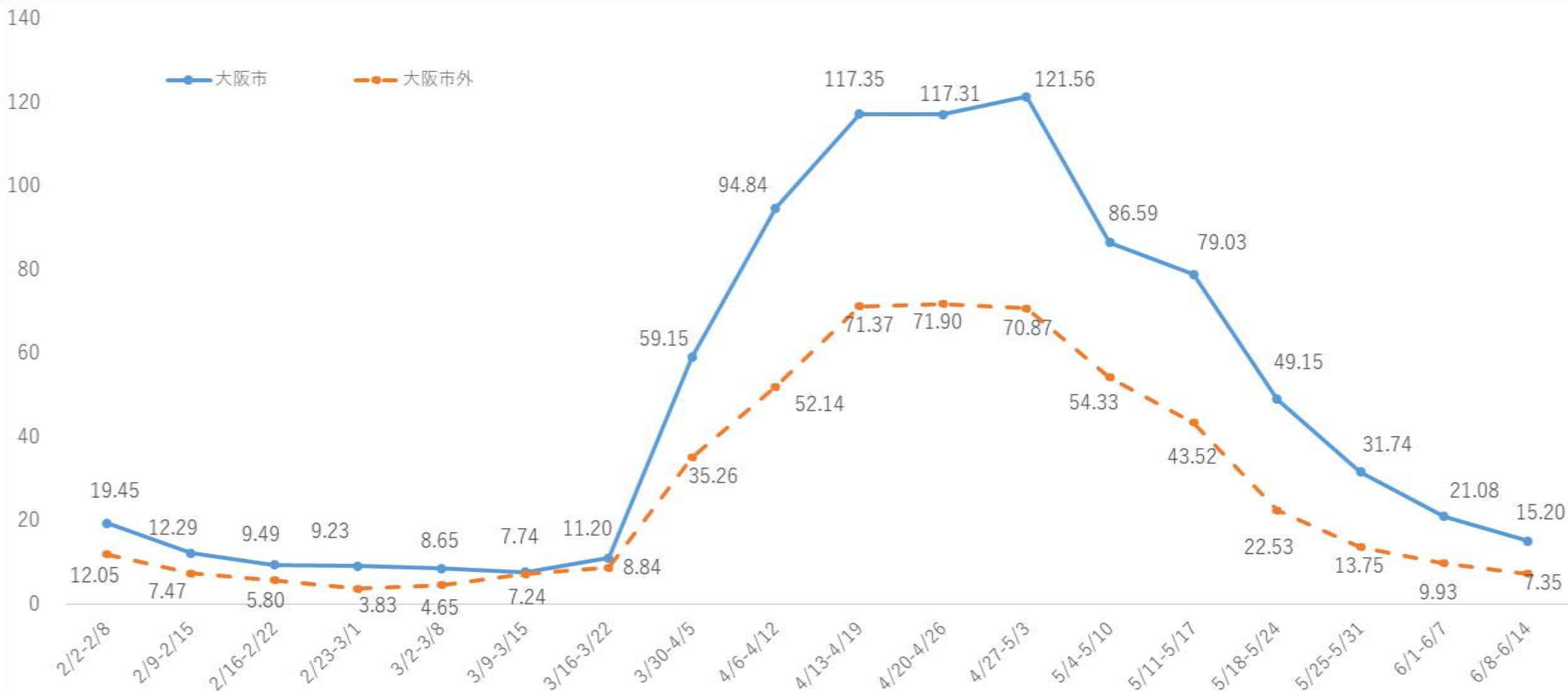


2 市内・市外の比較

大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり 1週間単位）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

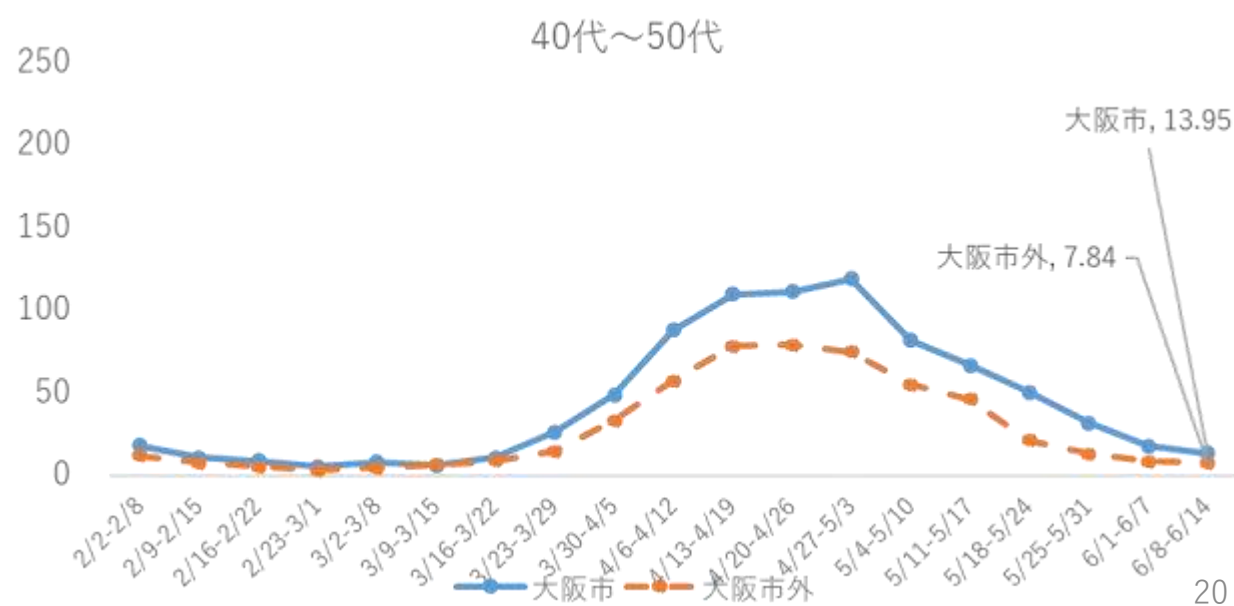
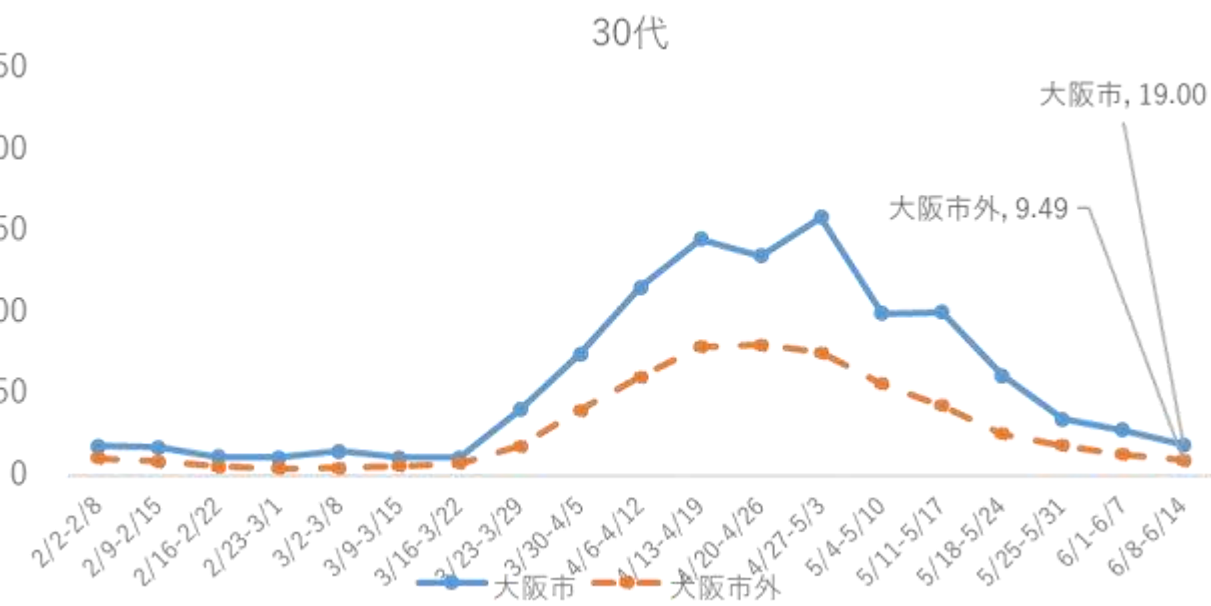
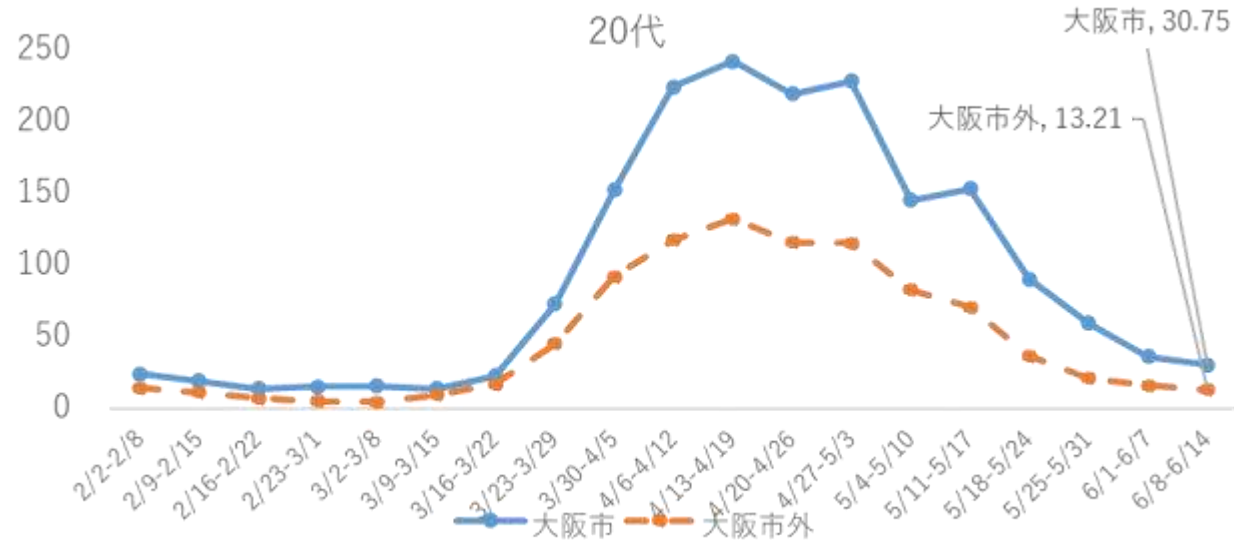
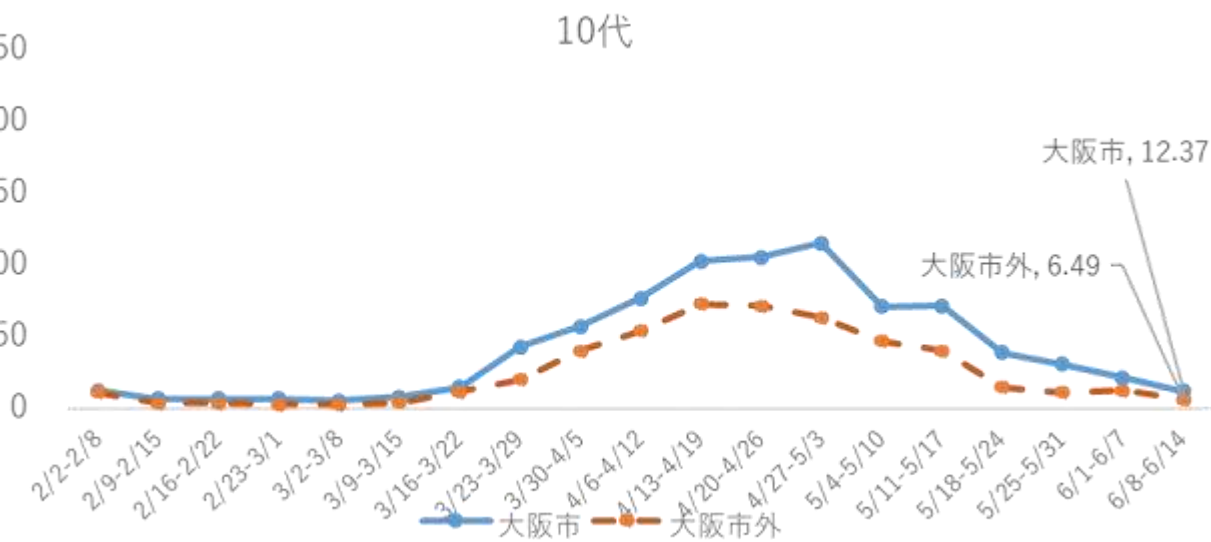
市内・市外居住者ともに減少。5月下旬以降、市外居住者はステージⅢ（15人）の基準を下回っている。
市内居住者については、6月以降、ステージⅣ（25人）の基準を下回り、ステージⅢ基準に近づいている。



大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

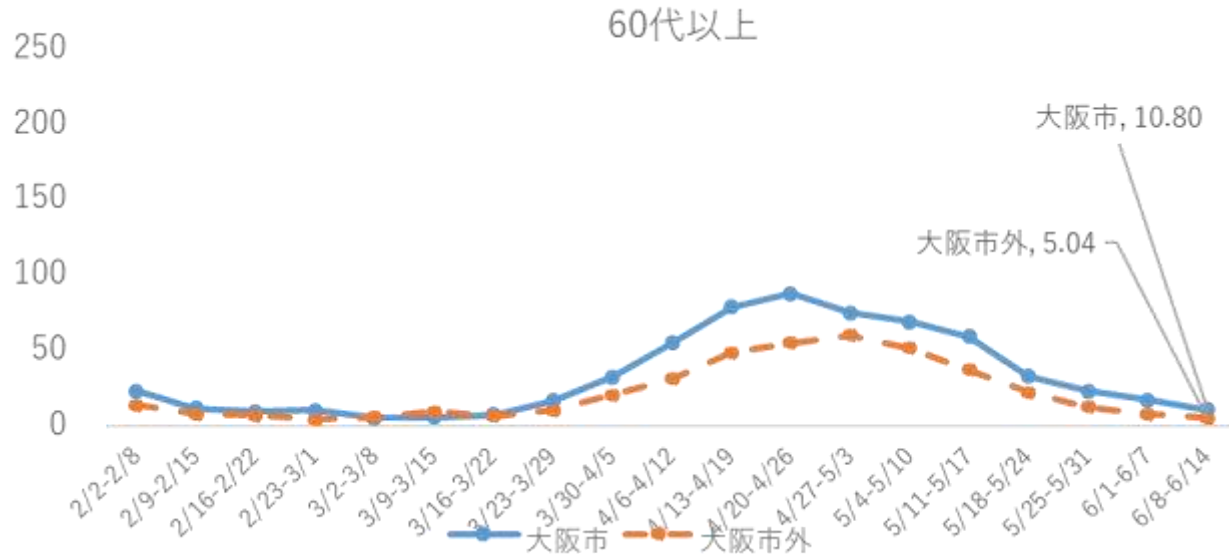
直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数は、全年代で減少。
 市内の20代（ステージⅣ超過）、30代（ステージⅢ超過）以外は、いずれも、ステージⅢの基準を下回っている。



大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

60代以上の直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数は、ステージⅢの基準を下回っている。

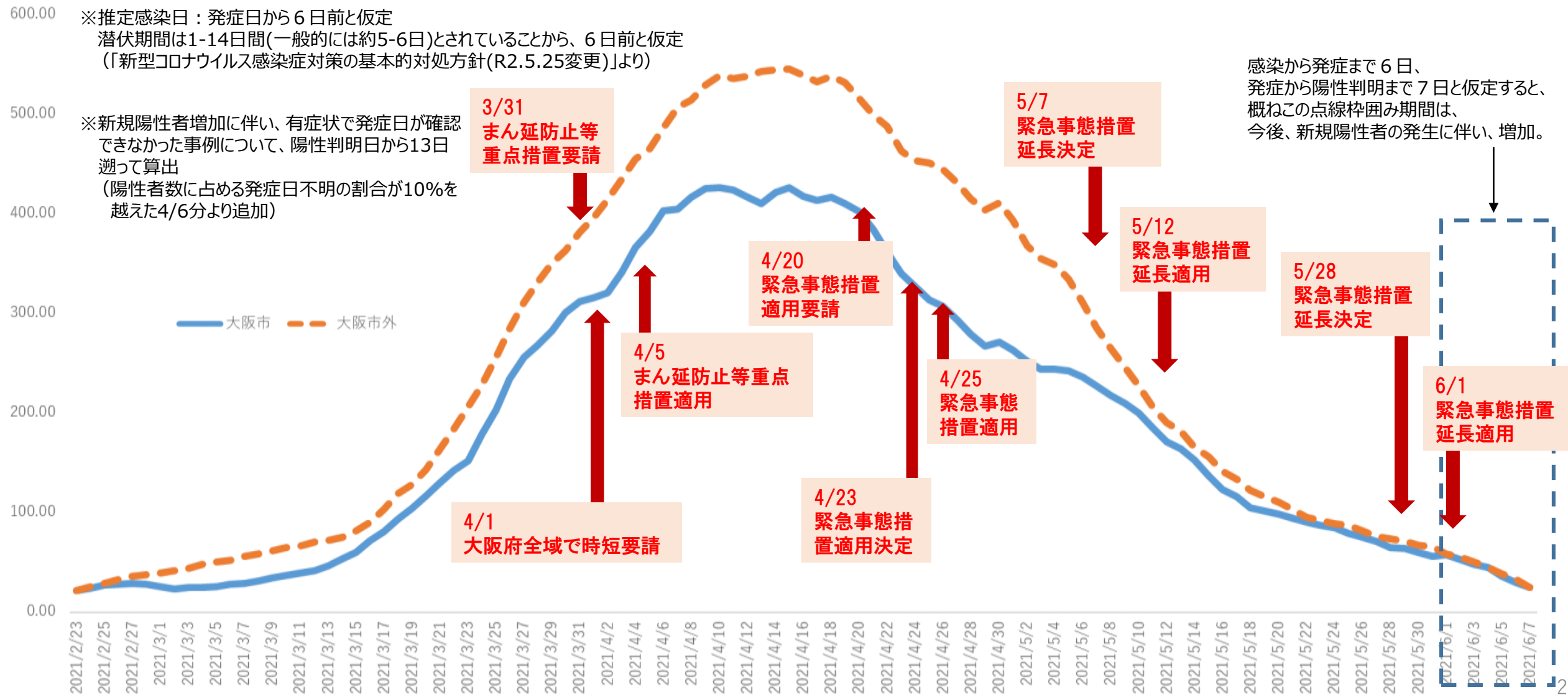


推定感染日別新規陽性者数（大阪市・市外 7日間移動平均）

※市内外は居住地による
 ※発症日が調査中、無症状等を除く

4/20の緊急事態措置適用要請前後から減少。

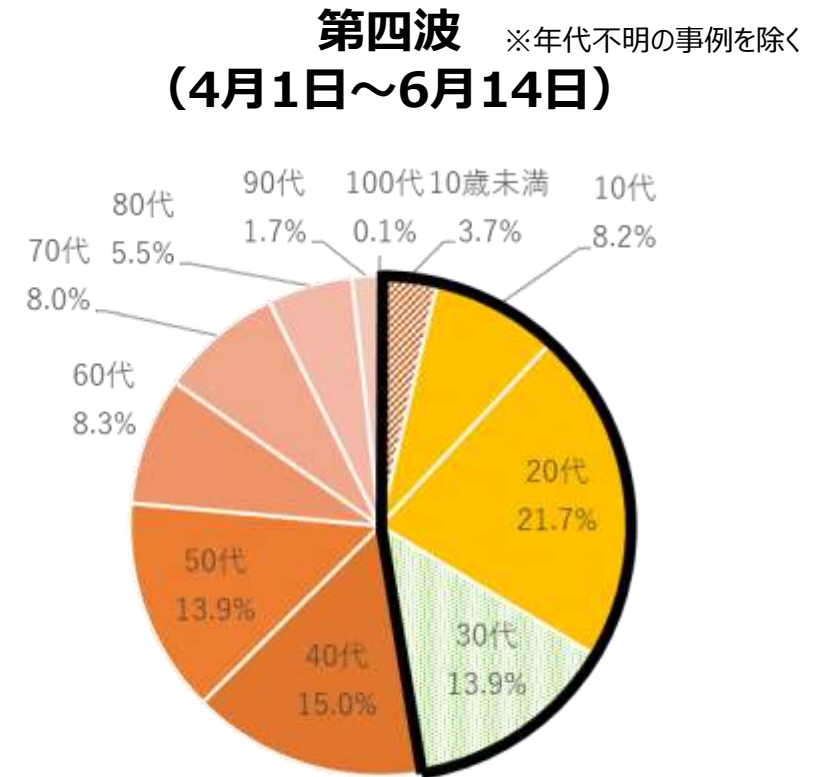
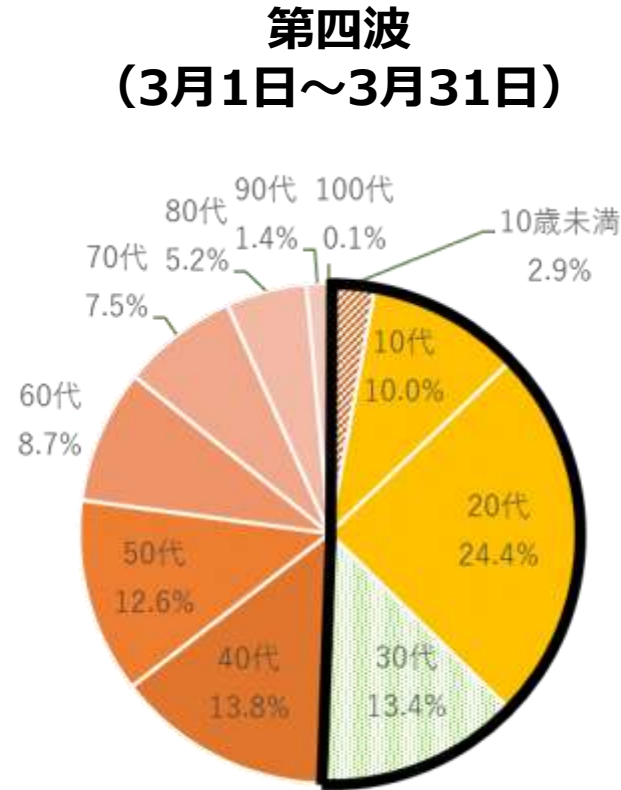
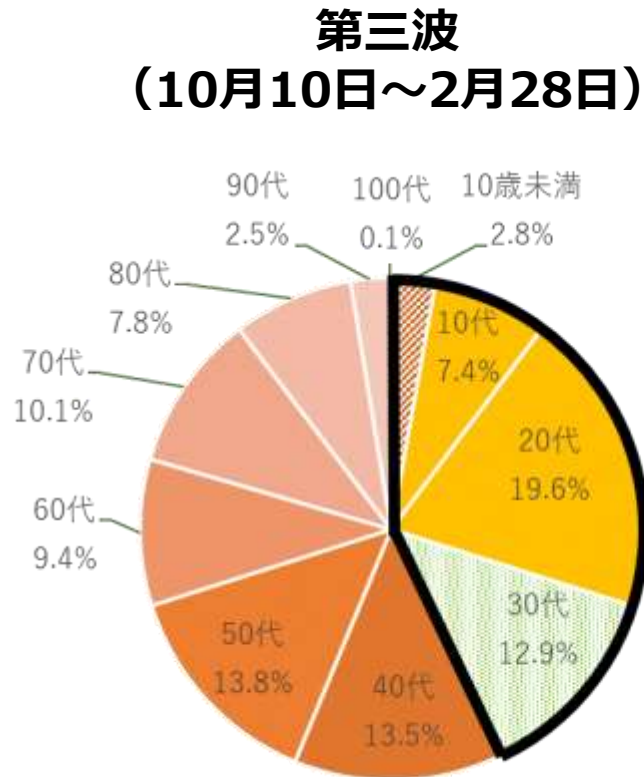
（ただし、4月6日以降、発症日不明の割合が10%を超過したことから、発症日不明の新規陽性者については、仮定に基づく推定のもと、計上。）



3 年代・居住地別の比較

年代別新規陽性者の割合

第三波に比べ、第四波は、30代以下の割合がやや増加。

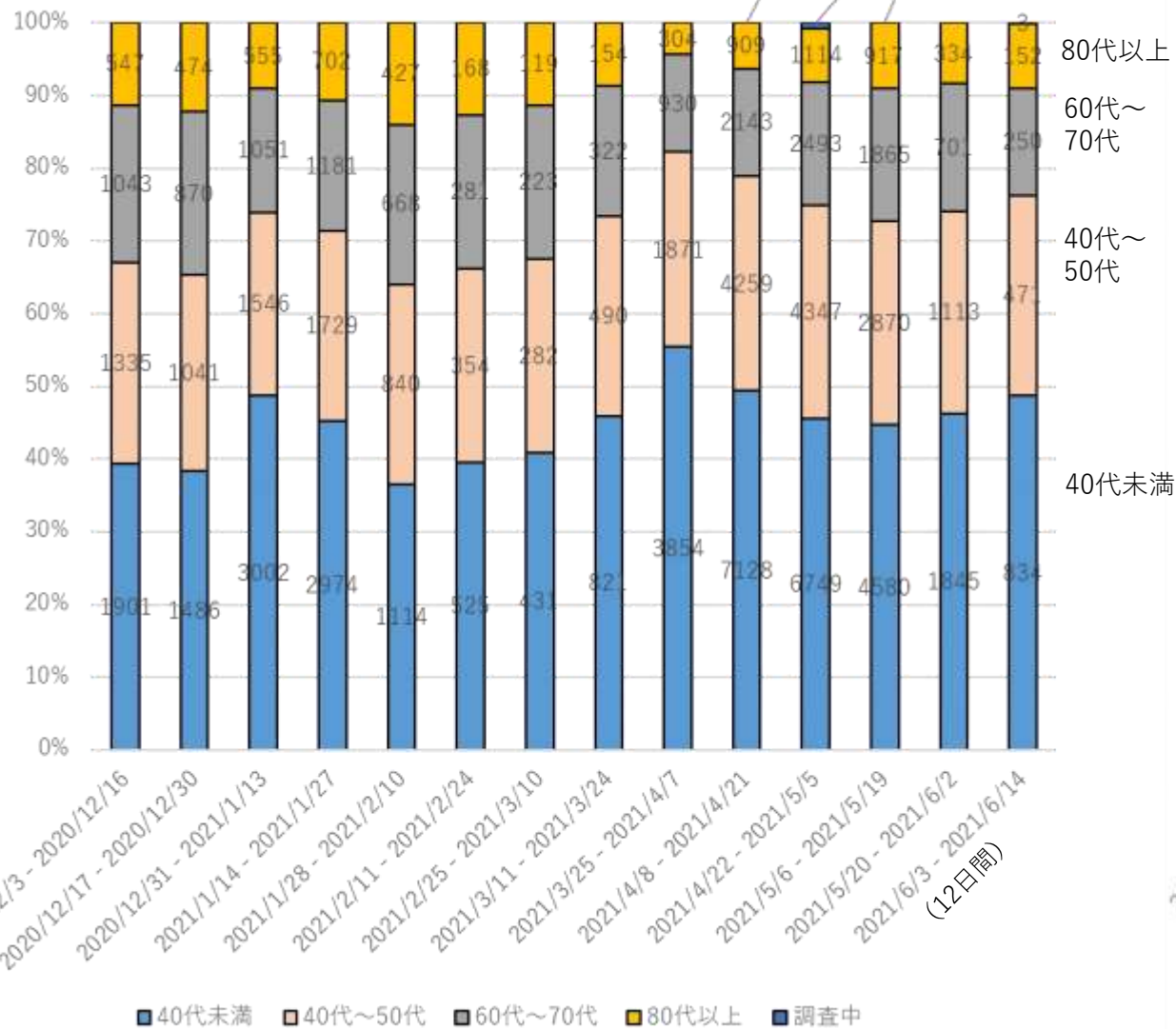


	第三波	第四波 (3月1日～3月31日)	第四波 (4月1日～6月14日)
30代以下割合 (うち、20代以下)	42.7% (29.8%)	50.7% (37.3%)	47.5% (33.6%)

陽性者の年齢区分

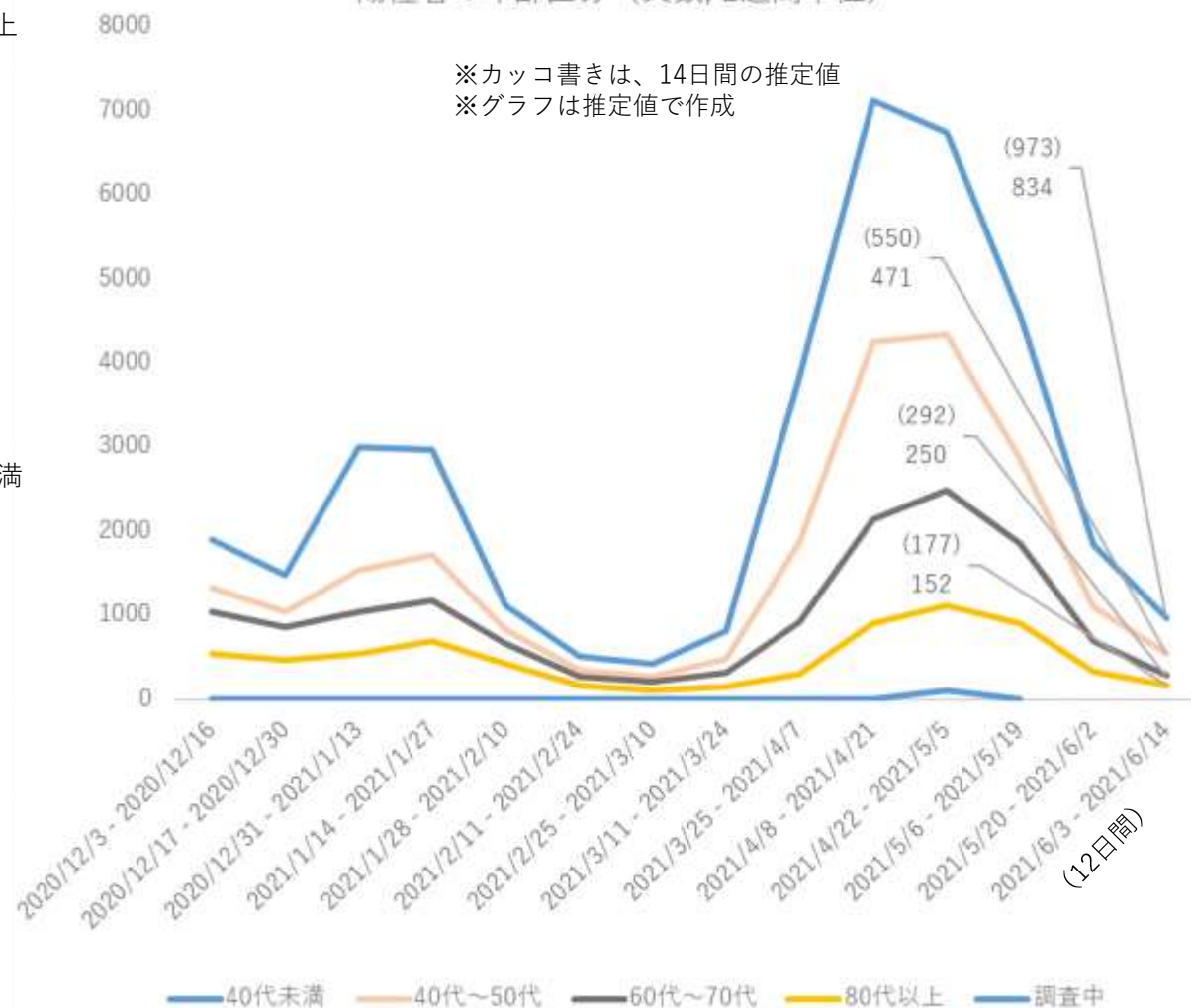
新規陽性者に占める40代未満の割合がやや増加し、5割弱。

陽性者の年齢区分（割合, 2週間単位）¹



（12月3日以降6月14日までに判明した80,805事例の状況）

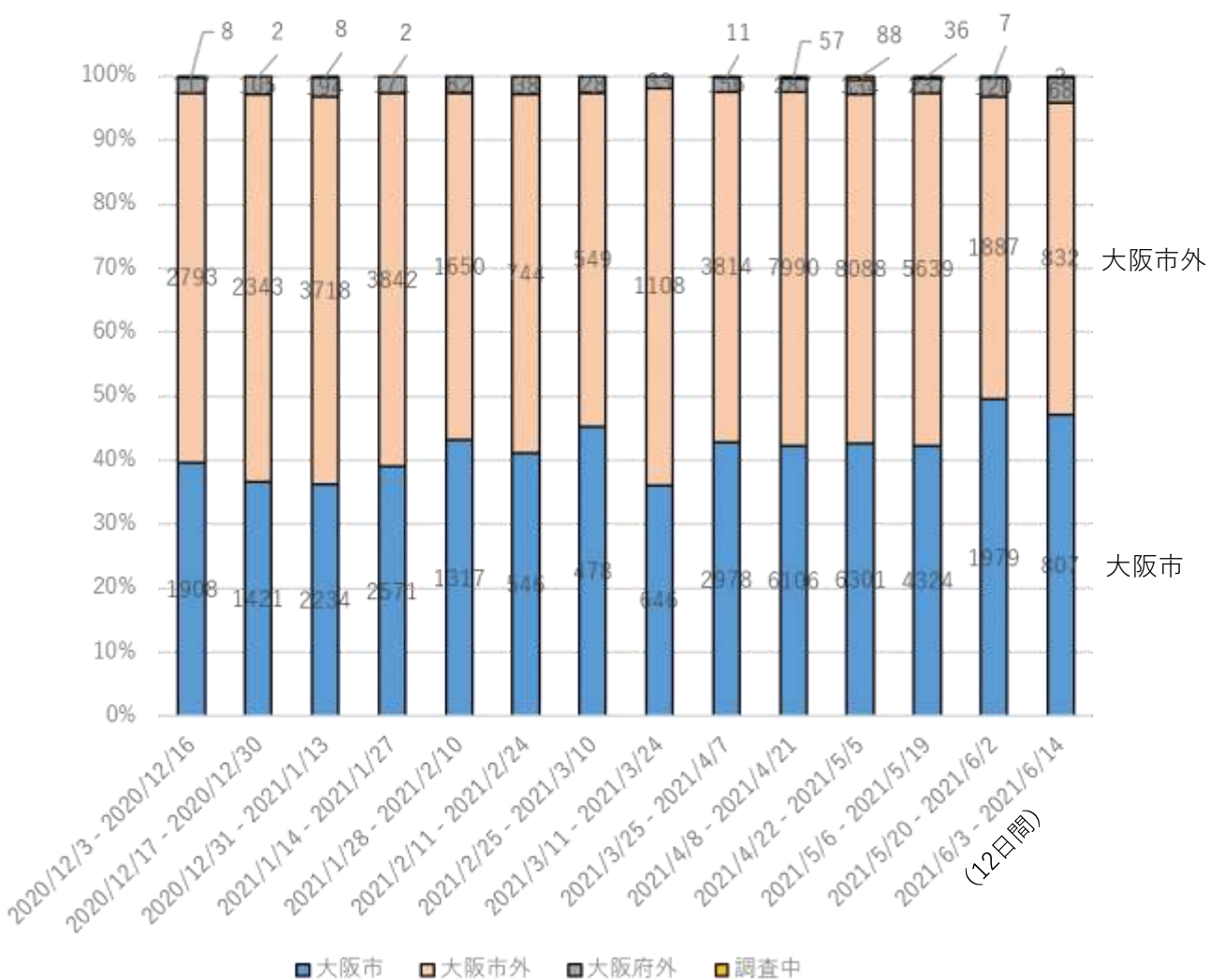
陽性者の年齢区分（実数, 2週間単位）



陽性者の居住地

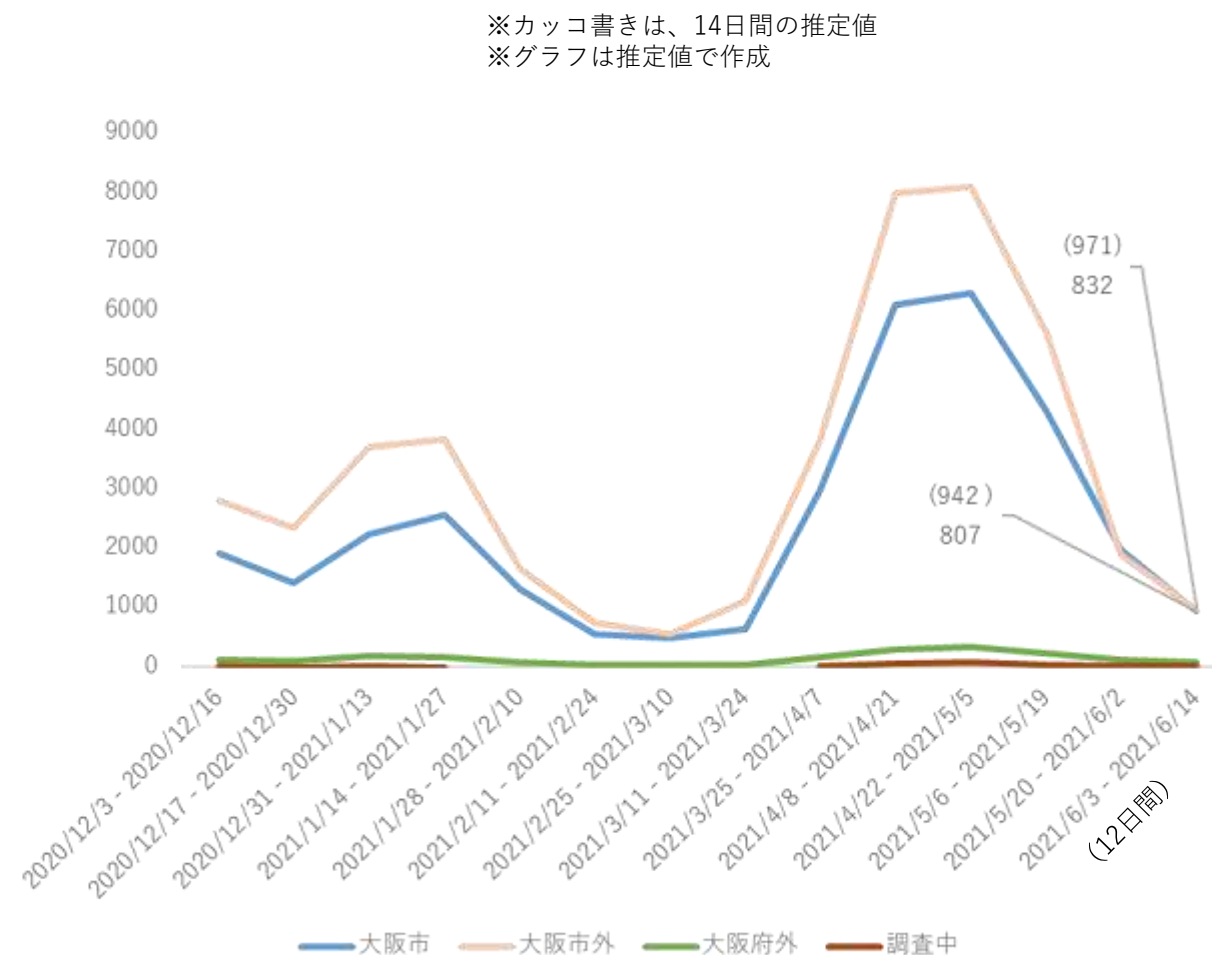
直近は、市外居住者の割合が5割を超過。

陽性者の居住地区分（割合, 2週間単位）



（12月3日以降6月14日までに判明した80,805事例の状況）

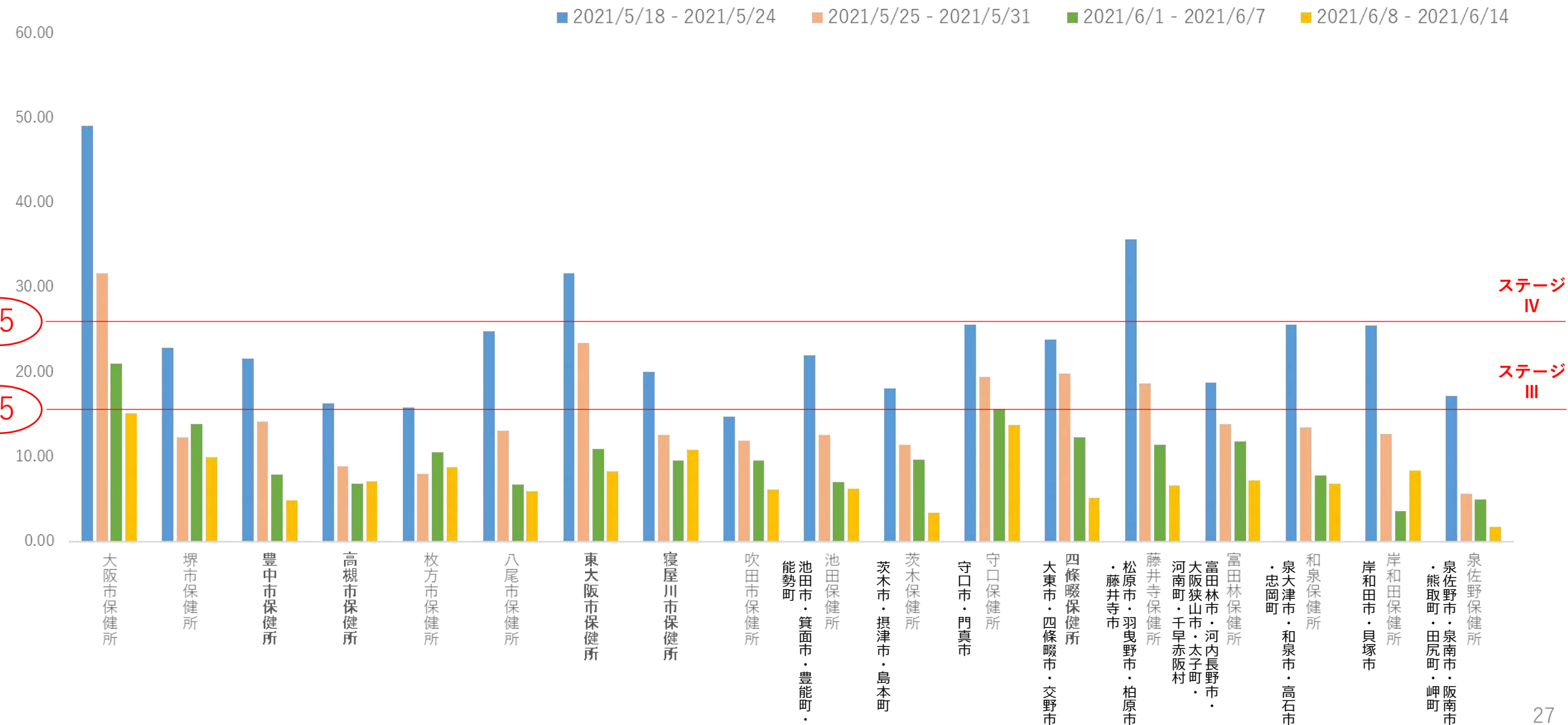
陽性者の居住地区分（実数, 2週間単位）



保健所管内別陽性者比較（人口10万人あたり 6月14日時点）

※居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

ほぼ全ての保健所管内で新規陽性者数は減少傾向。
 直近1週間でステージⅢ（15人）を上回った（15.20）のは大阪市保健所管内のみ。

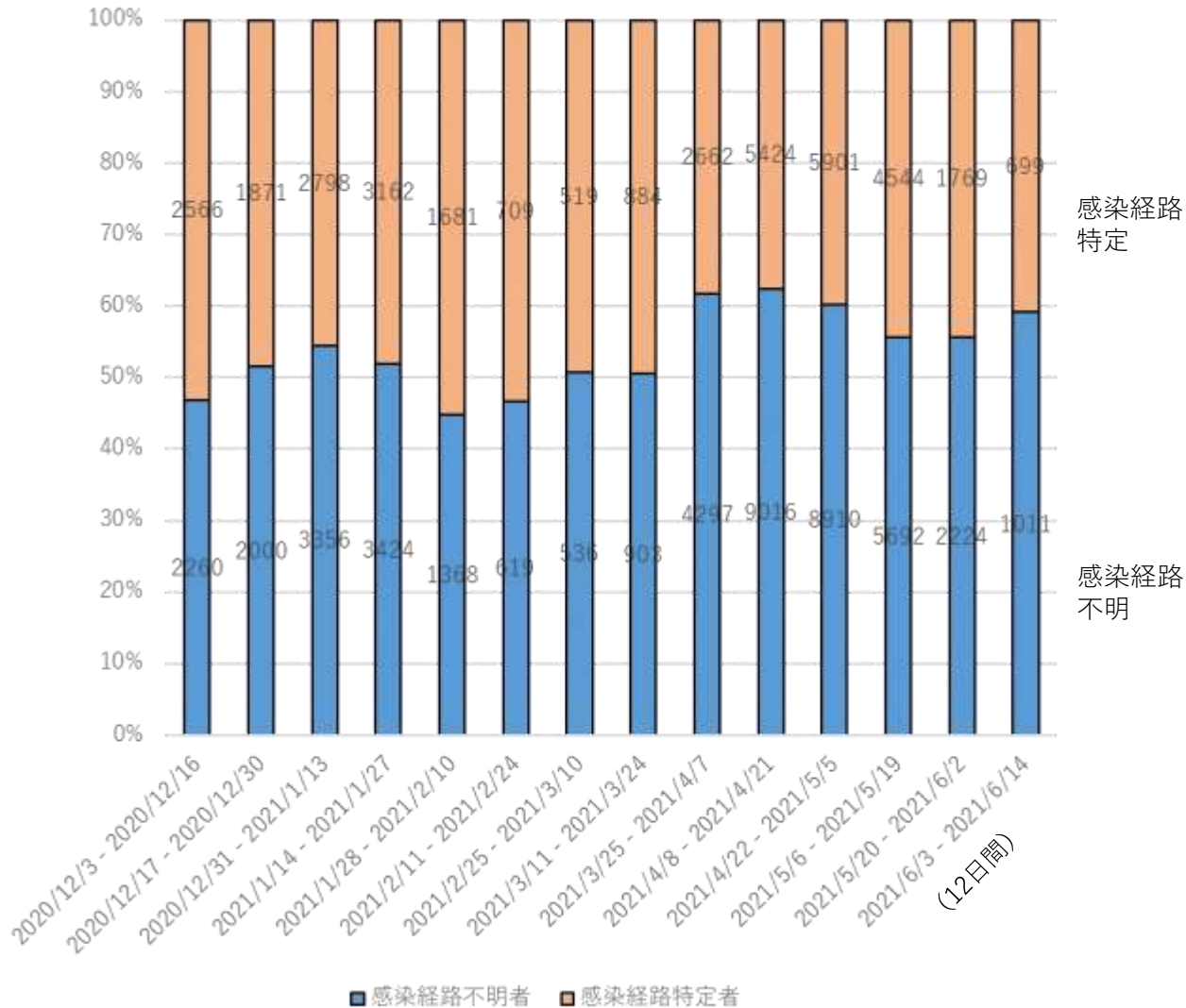


4 感染経路

陽性者の感染経路の状況

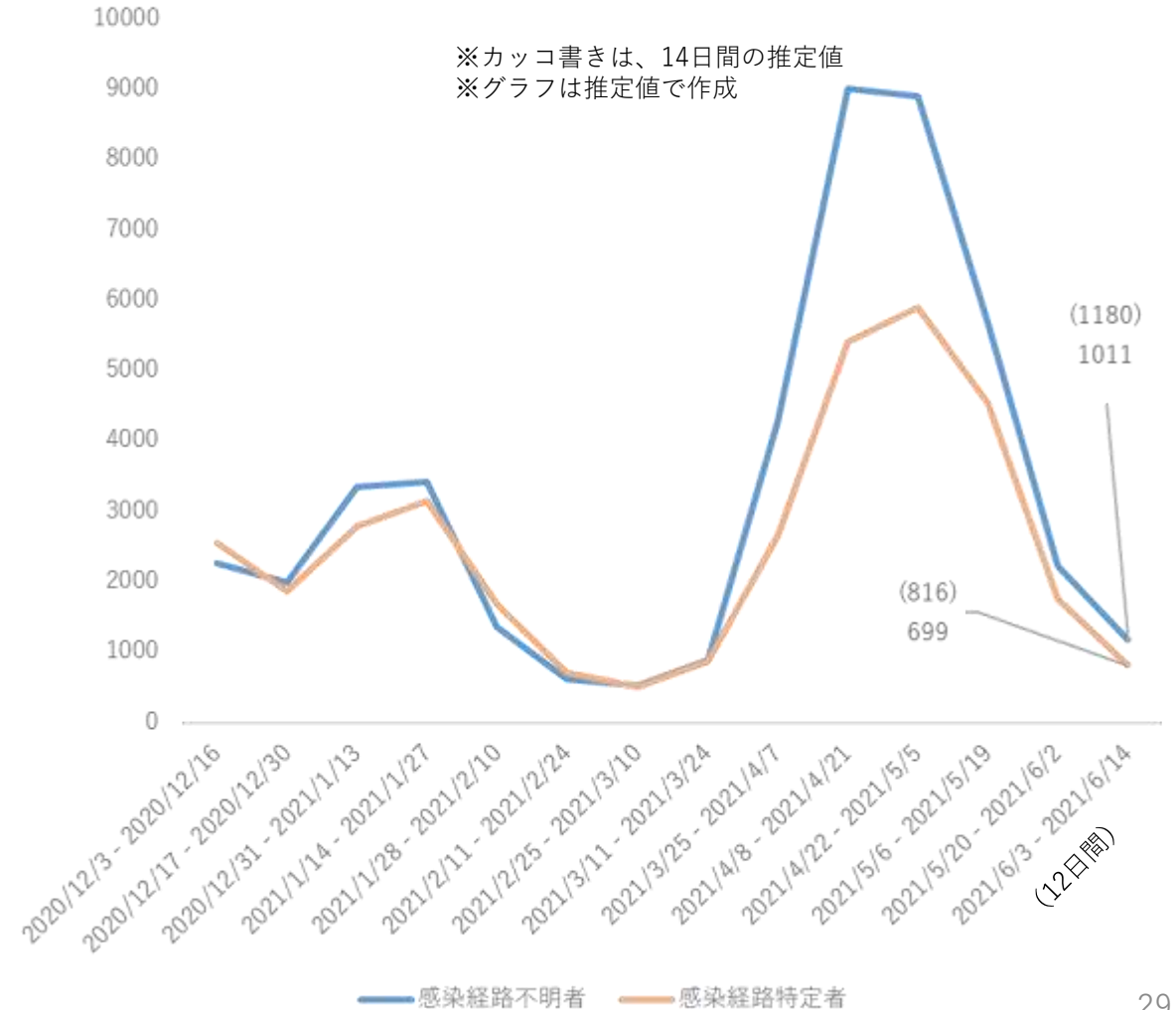
感染経路不明の割合は6割程度。

感染経路の状況（割合）



(12月3日以降6月14日までに判明した80,805事例の状況)

感染経路の状況（実数）



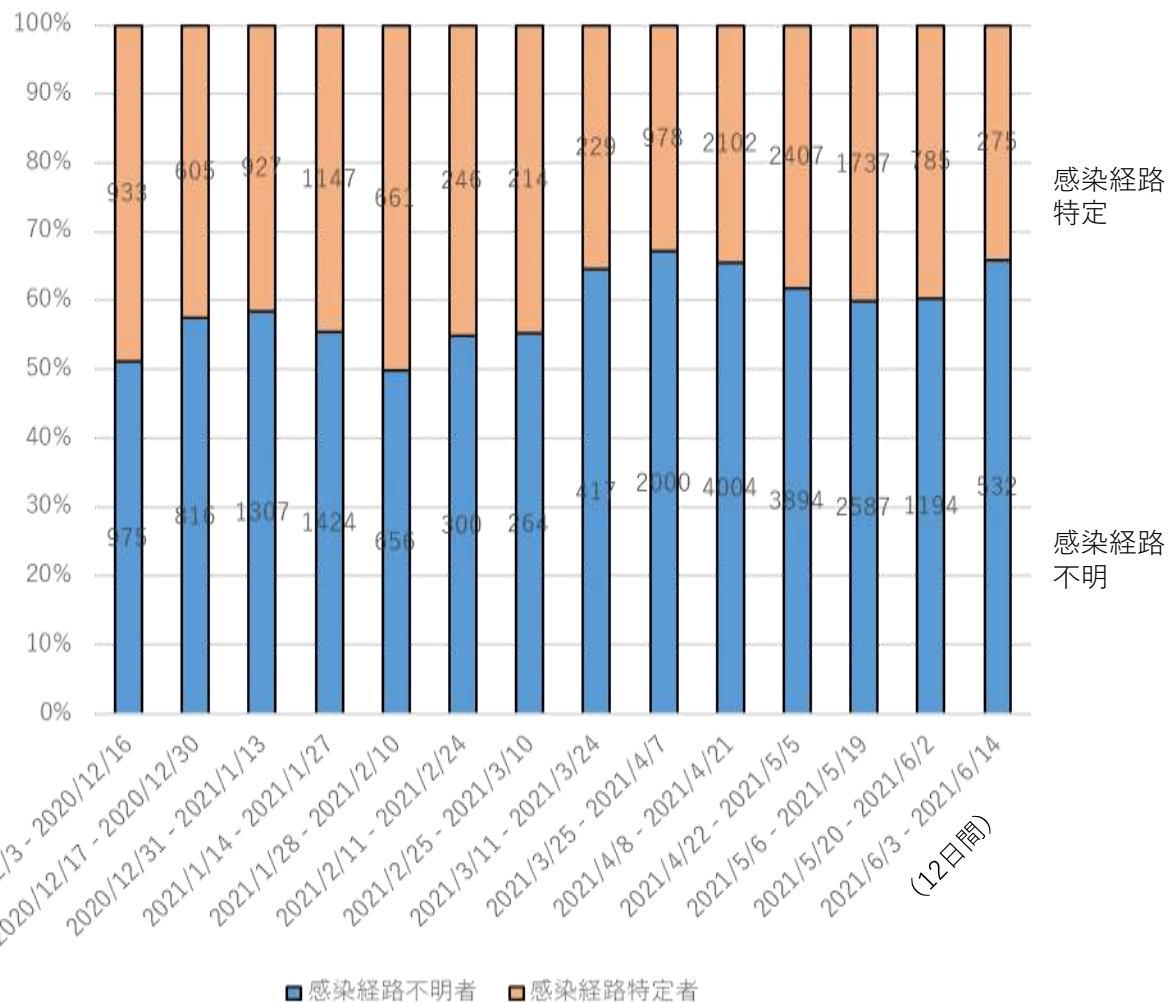
陽性者の感染経路の状況（大阪市内外）

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

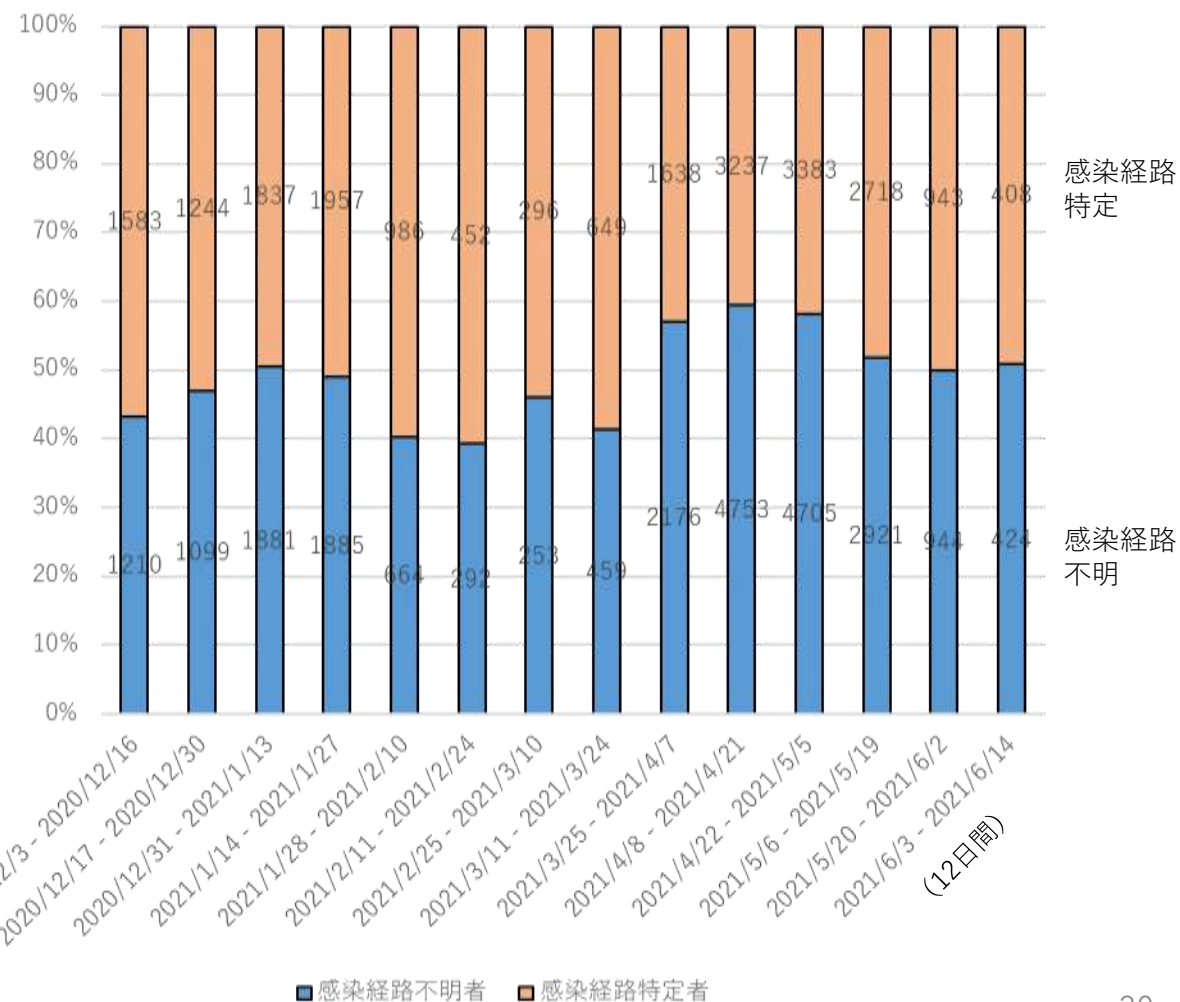
市内居住者の感染経路不明割合は、6割強。市外居住者は、約5割程度で推移。

（12月3日以降6月14日までに判明した80,805事例の状況）

感染経路の状況（大阪市内）

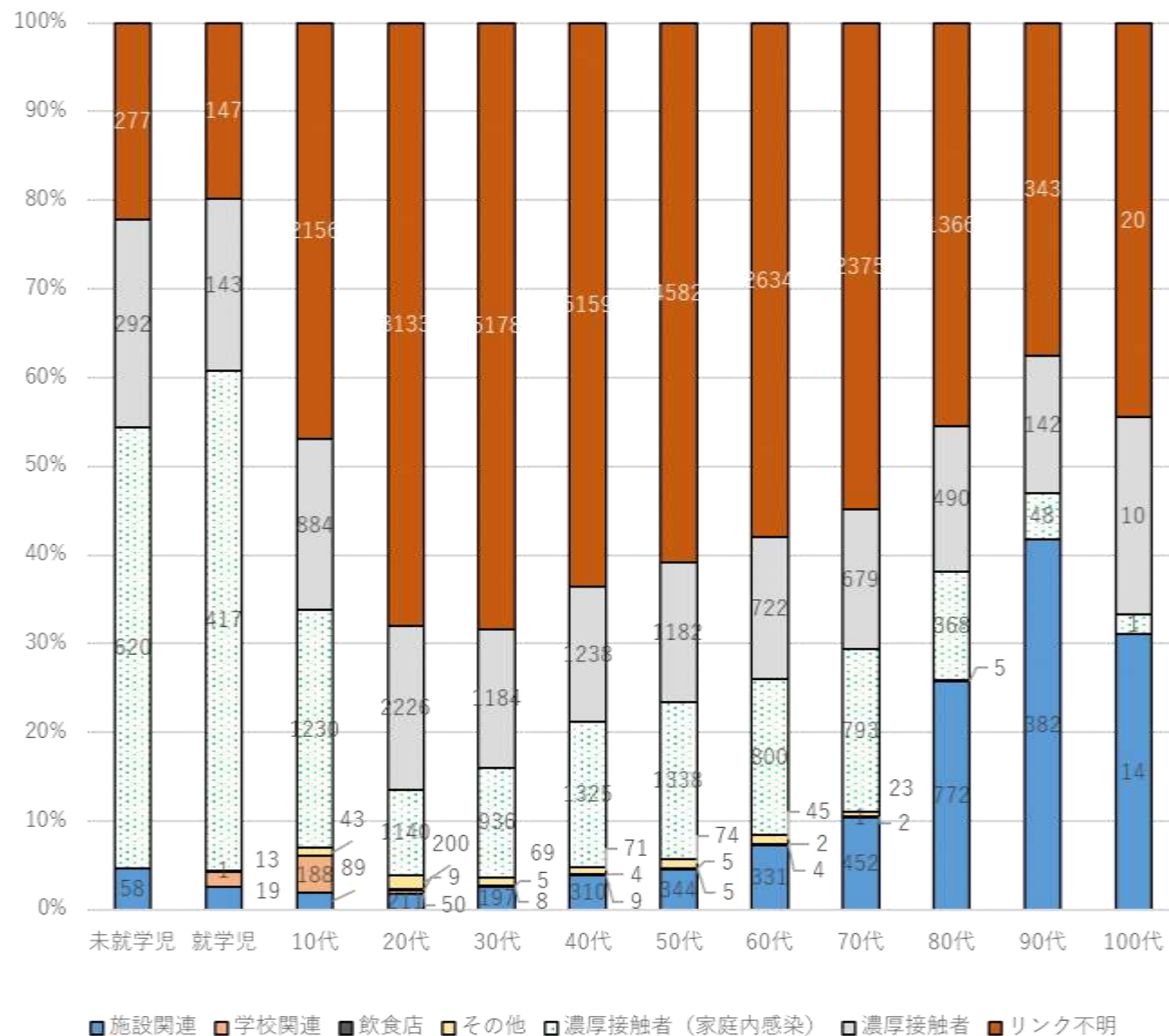


感染経路の状況（大阪市外）

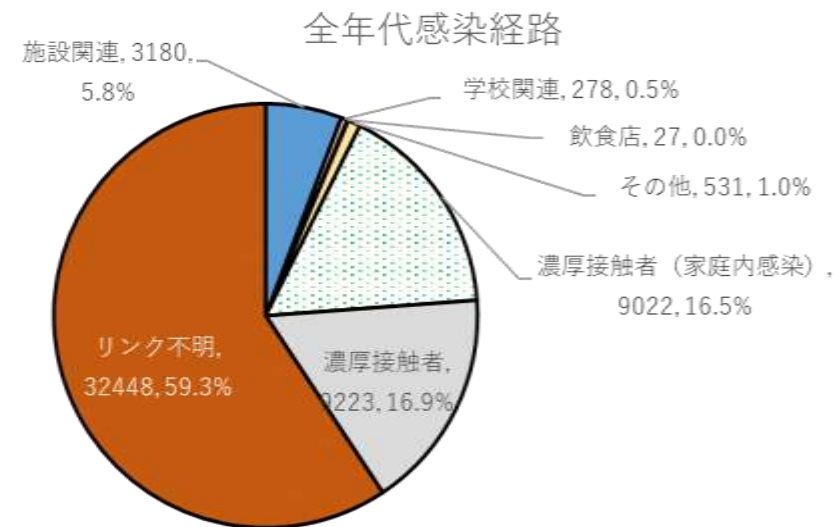


感染経路（第四波）

年代別感染経路



(3月1日以降6月14日までに判明した54,709事例の状況)



<全年代感染経路>

時点	施設関連	学校関連	飲食店	その他	濃厚接触者(家庭内感染)	濃厚接触者	リンク不明
第二波	7.7%	0.5%	0.5%	0.4%	12.3%	18.6%	60.0%
第三波	13.0%	1.2%	0.2%	1.4%	16.7%	14.8%	52.7%
(参考) 第四波 (3/1~3/31)	9.2%	0.8%	0.4%	1.9%	18.3%	12.8%	56.5%
第四波 (3/1~6/14)	5.8%	0.5%	0.0%	1.0%	16.5%	16.9%	59.3%

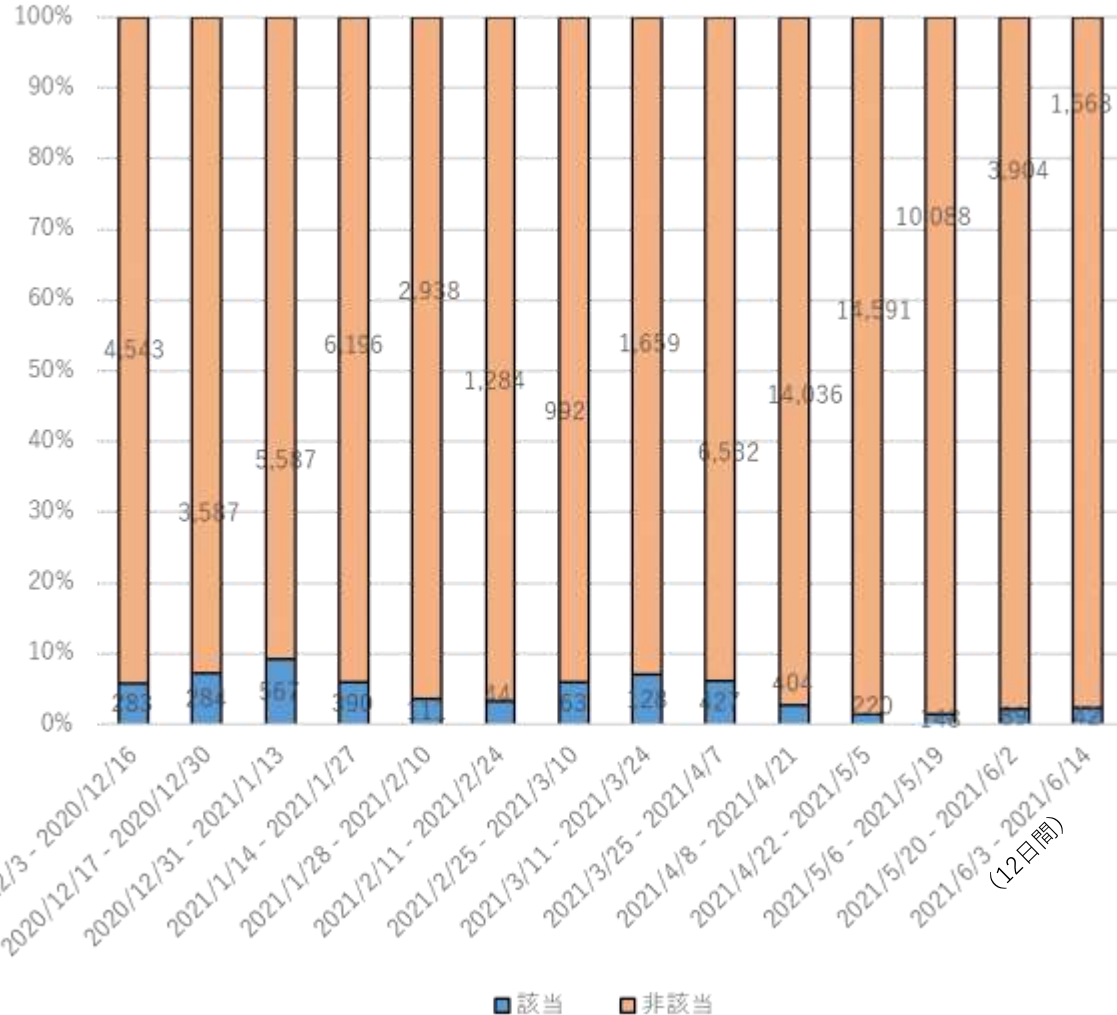
5 感染エピソード

夜の街の関係者及び滞在者の状況（陽性者全体における該当者）

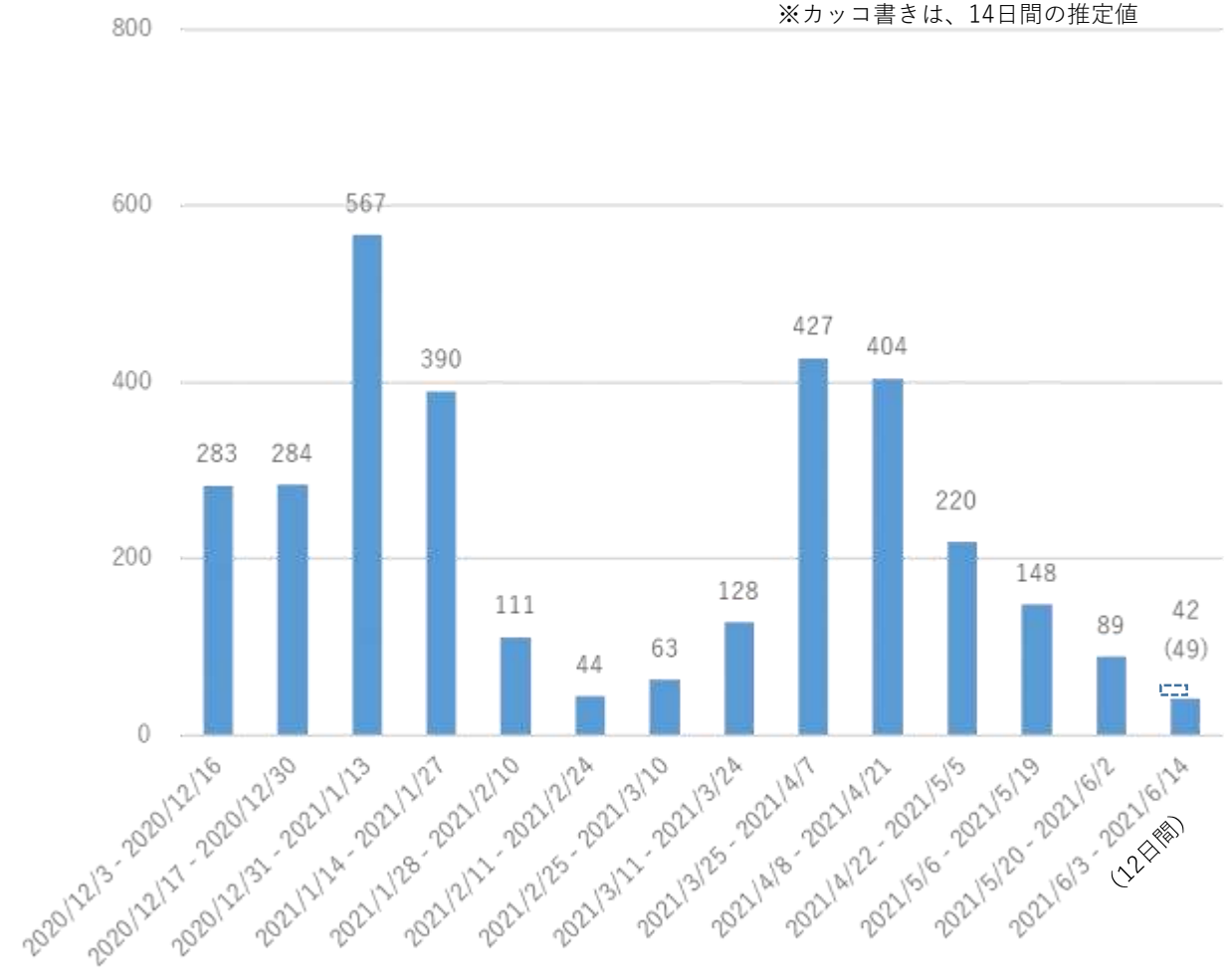
夜の街の関係者及び滞在者の人数は減少が続いおり、第三波緊急事態措置期間中の水準にまで低下。

（12月3日以降6月14日までに判明した80,805事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：割合）



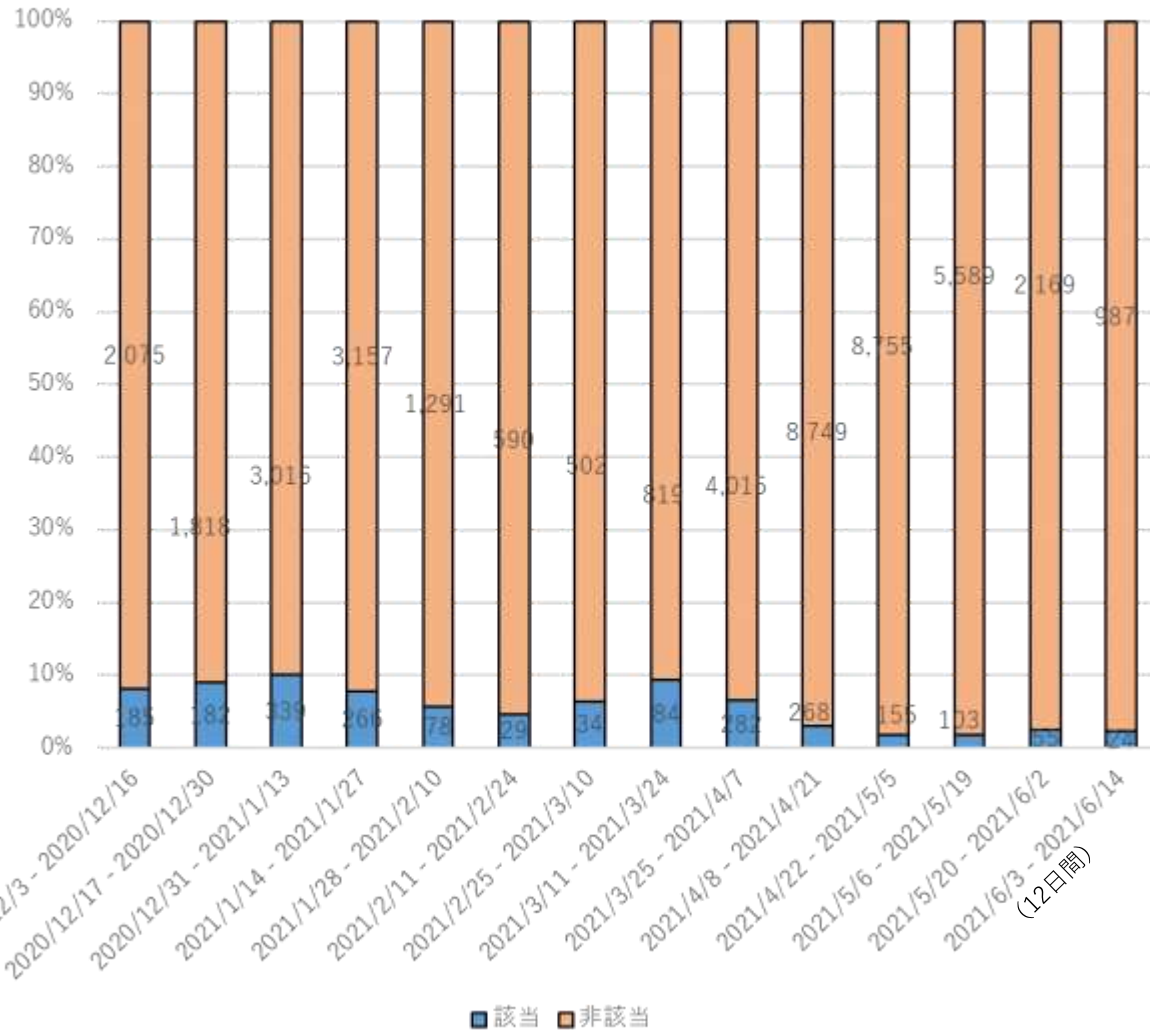
夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：実数）



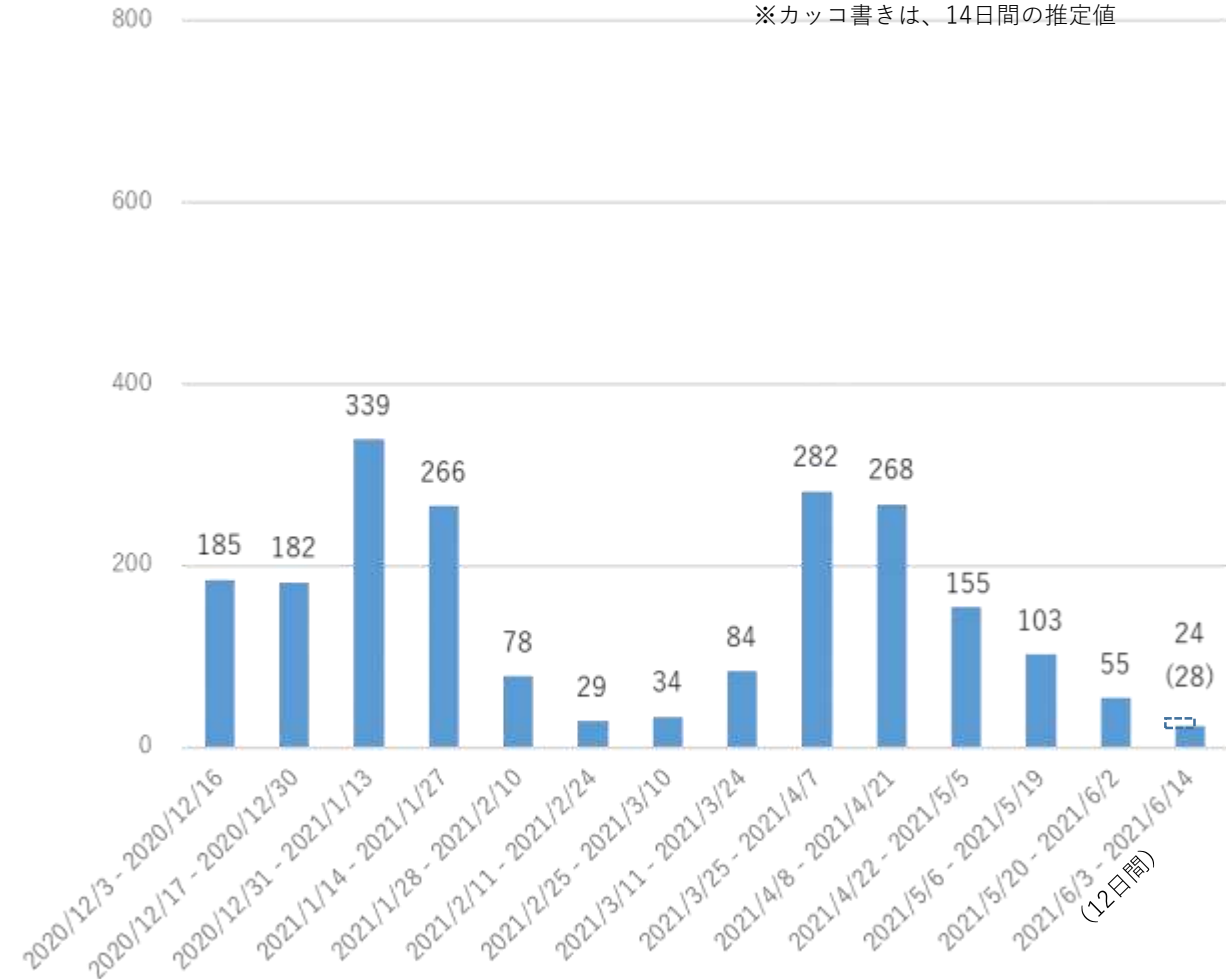
夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明者における該当者）

（12月3日以降6月14日までに判明した感染経路不明者45,420事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：実数）



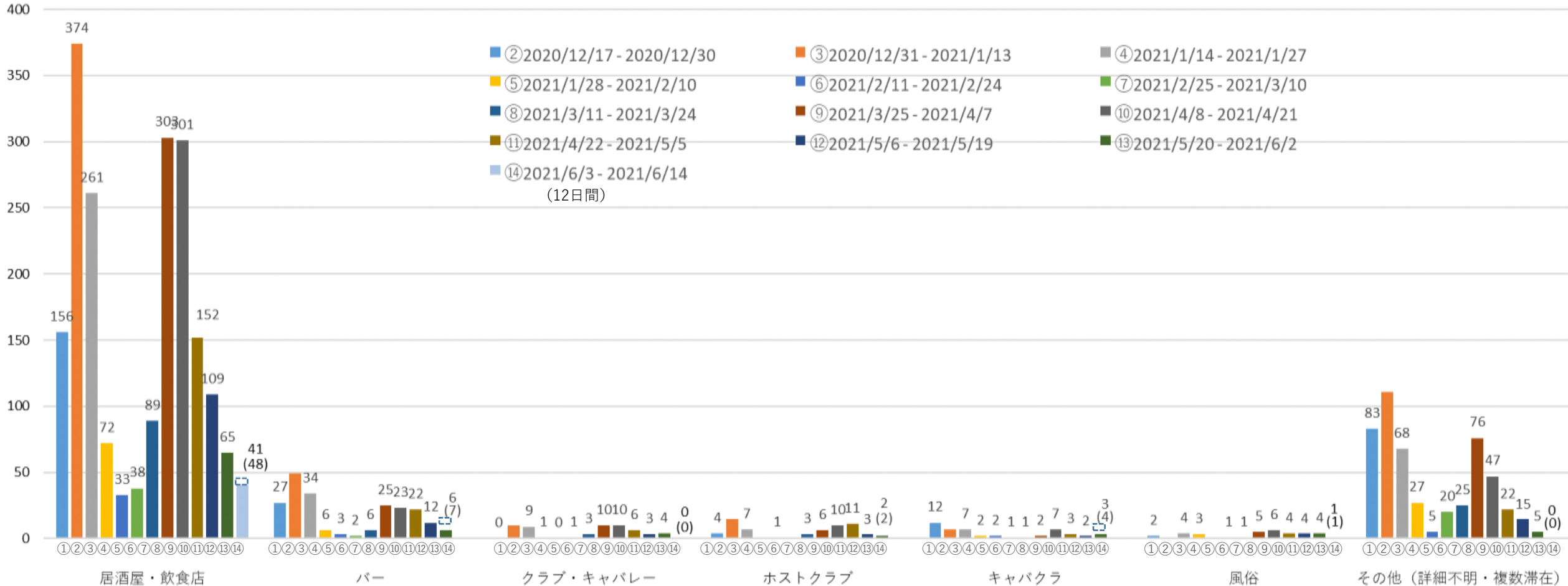
※該当・非該当は本人からの聞き取り情報による

夜の街の滞在分類別の状況

居酒屋・飲食店は、減少が続いており、第三波緊急事態措置期間中の水準にまで低下。

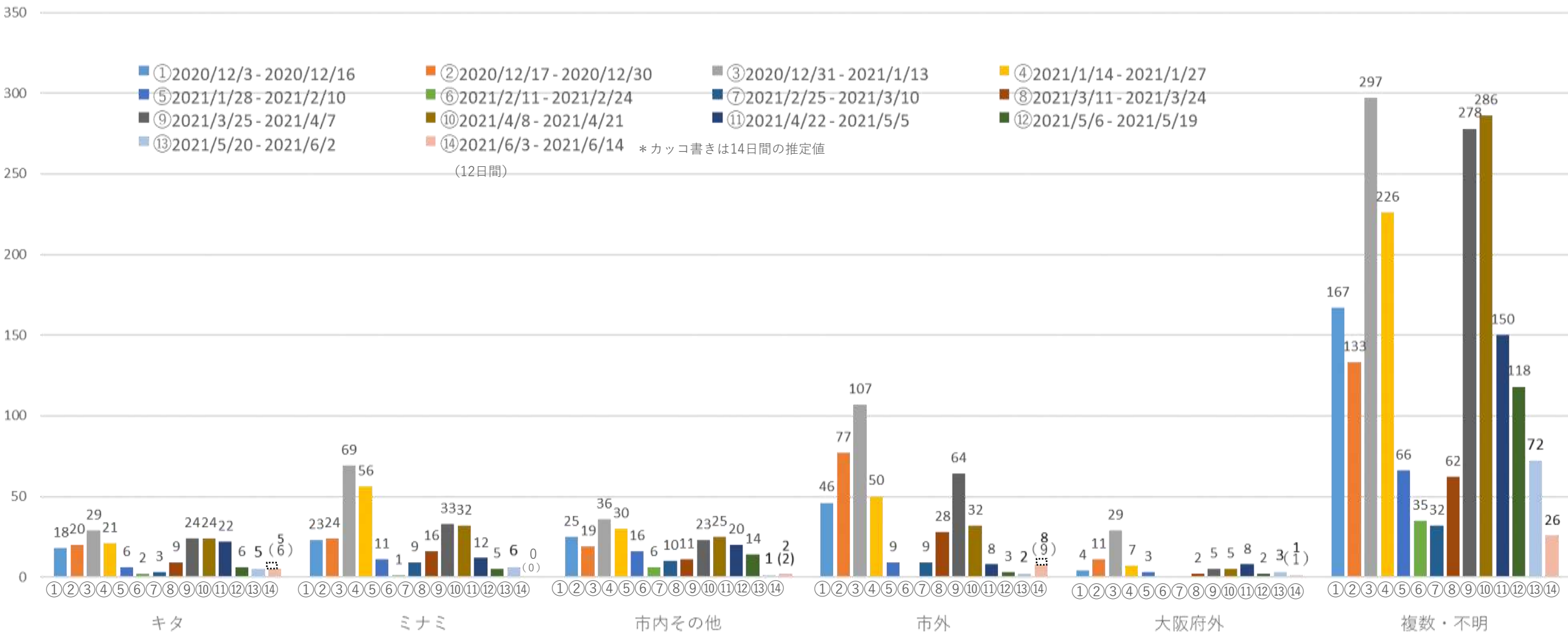
(12月3日以降6月14日までに判明した3,200事例の状況)

※カッコ書きは、14日間の推定値



夜の街の滞在エリア別の状況

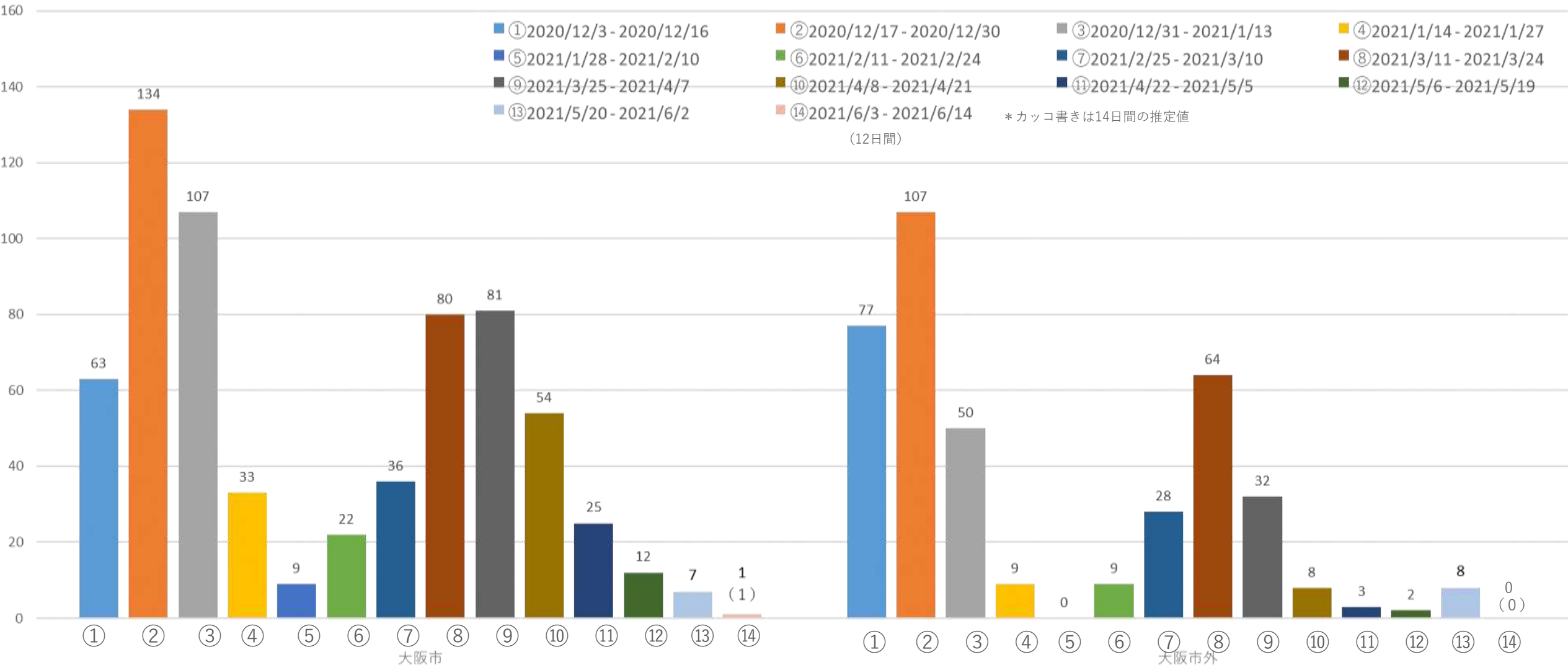
(12月3日以降6月14日までに判明した3,200事例の状況)



夜の街の滞在エリア別の状況

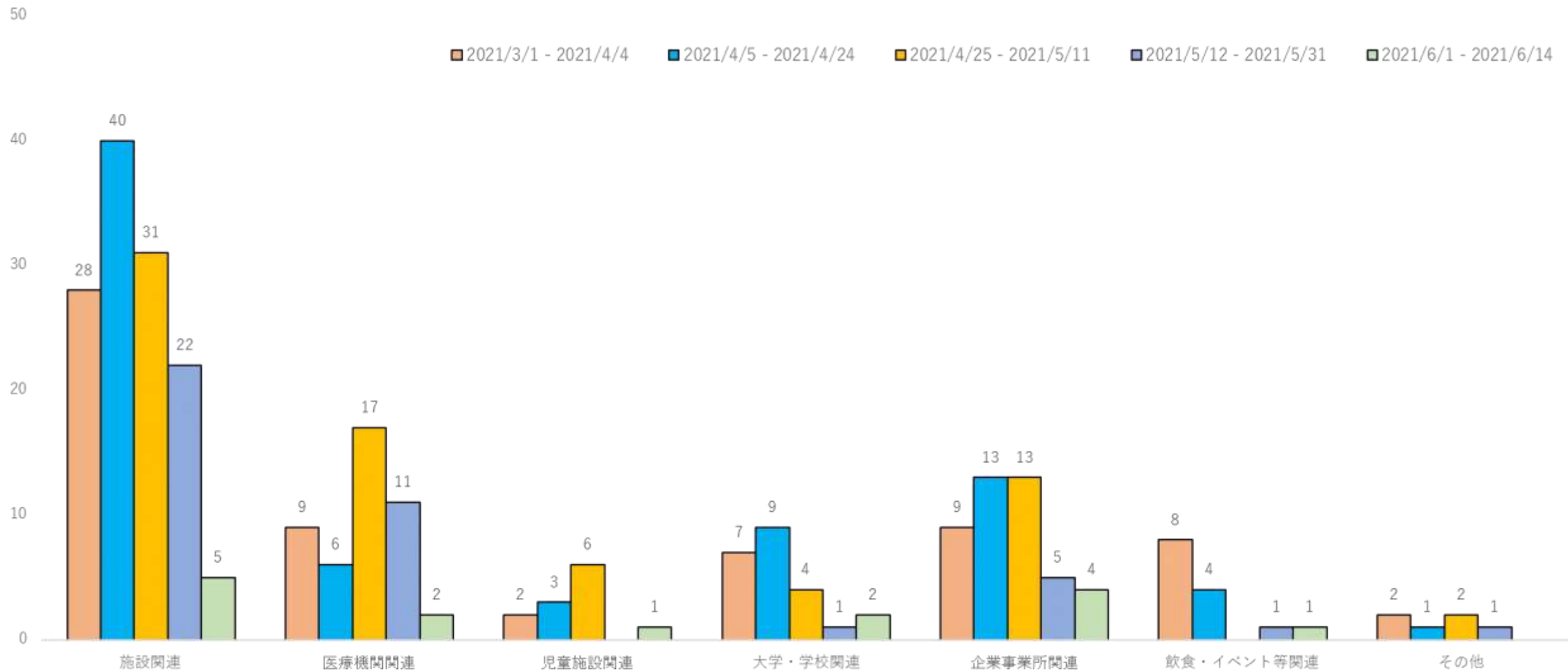
夜の街の滞在エリアとして市内、市外ともに減少。

(12月3日以降6月14日までに判明した3,200事例の状況)



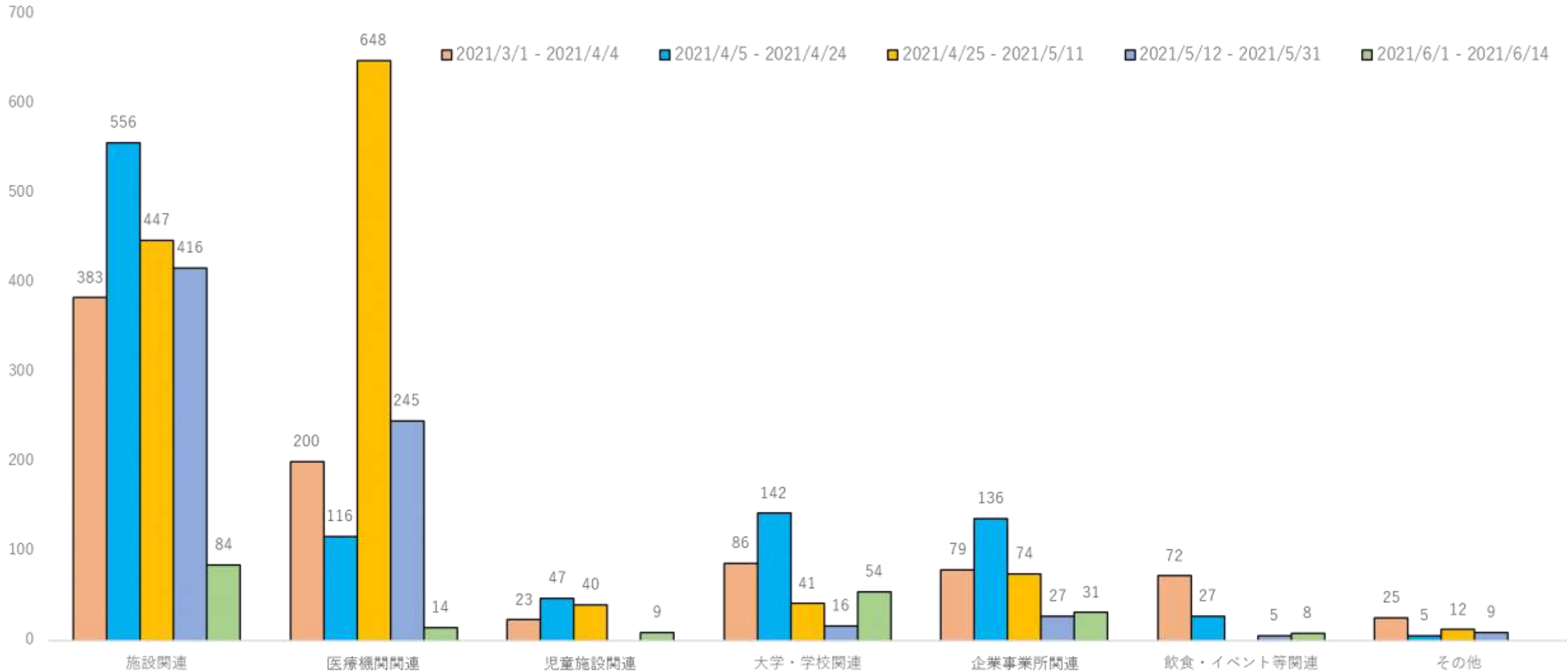
第三波から第四波にかけてのクラスター状況（施設数）【実数】（6月14日時点）

緊急事態措置が適用された4月25日以降、施設関連、大学・学校関連、企業事業所関連、飲食・イベント等関連は減少。

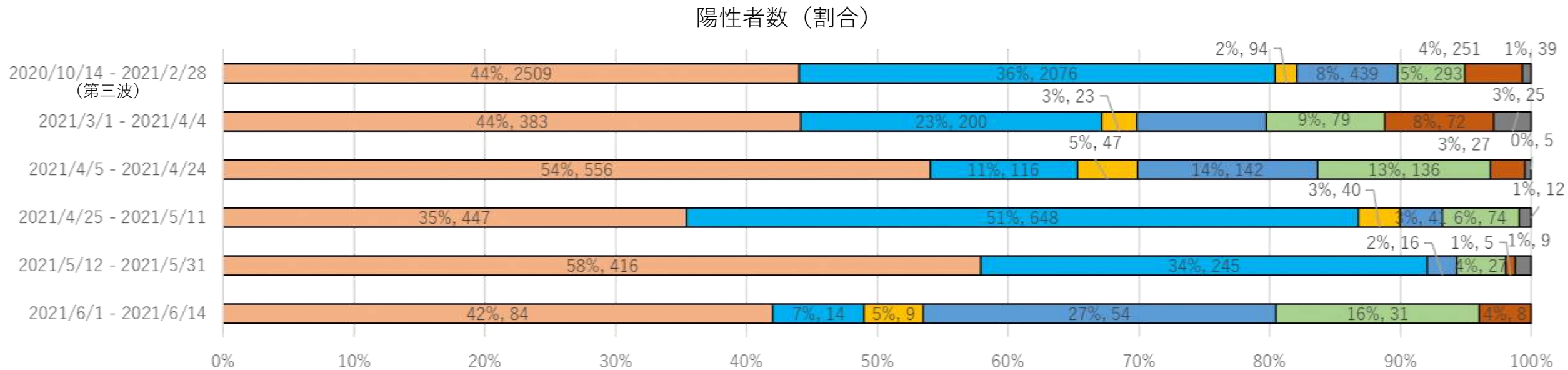
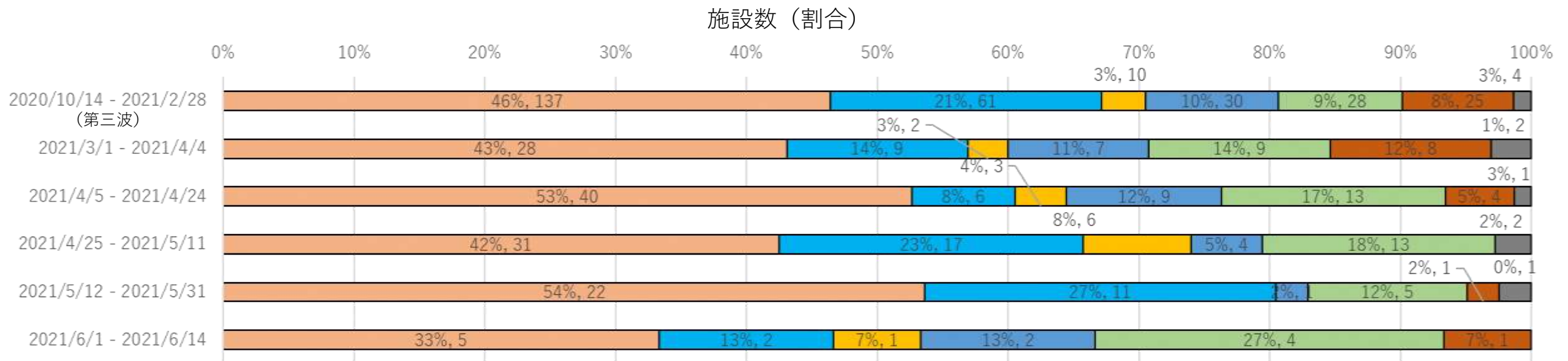


第三波から第四波にかけてのクラスター状況（陽性者数）【実数】（6月14日時点）

緊急事態措置が適用された4月25日以降、施設関連大学・学校関連、企業事業所関連、飲食・イベント等関連は減少。一方、大学・学校関連、企業事業所関連、飲食・イベント等関連は、6月以降、再び増加。

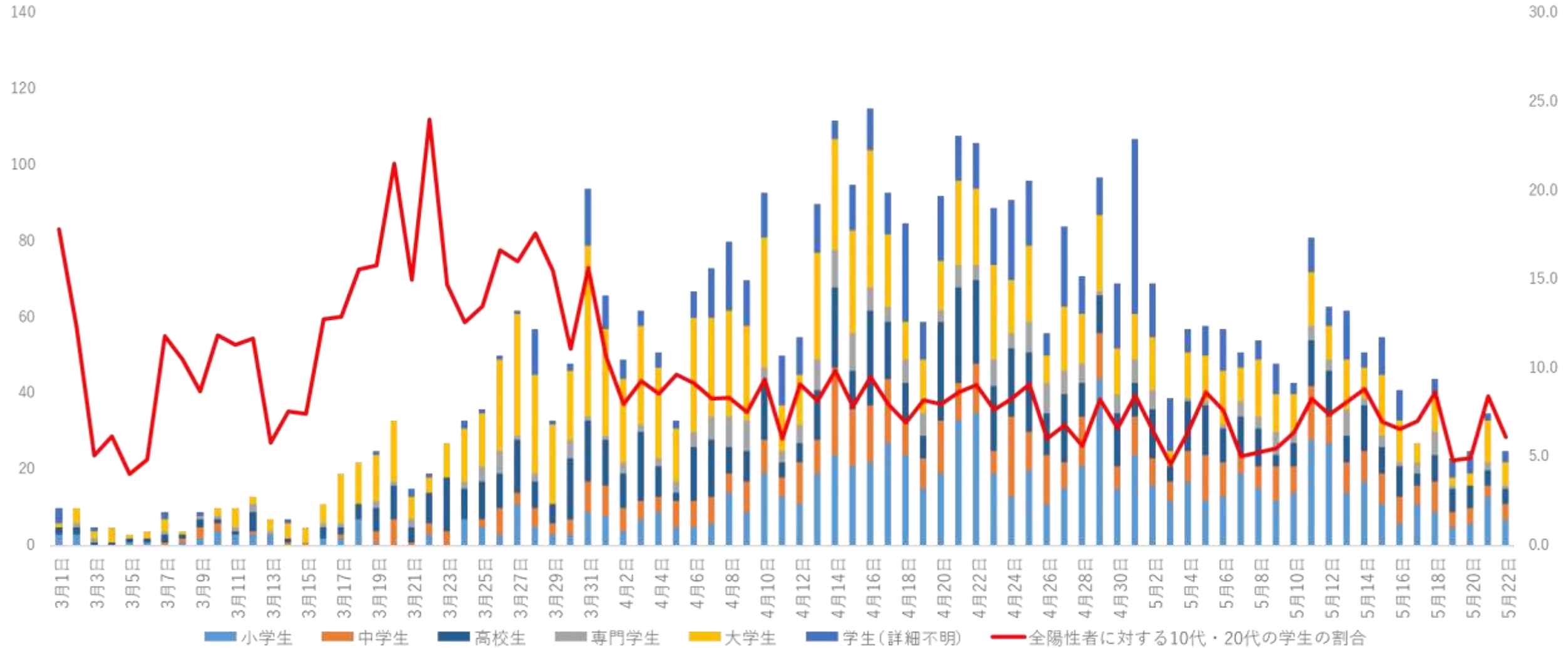


第三波から第四波にかけてのクラスター状況【割合】（6月14日時点）



小・中・高・大学生等の感染状況

5月に入り、学生の新規陽性者数は減少しているが、陽性者に占める10・20代の学生の割合は横ばいとなっている。

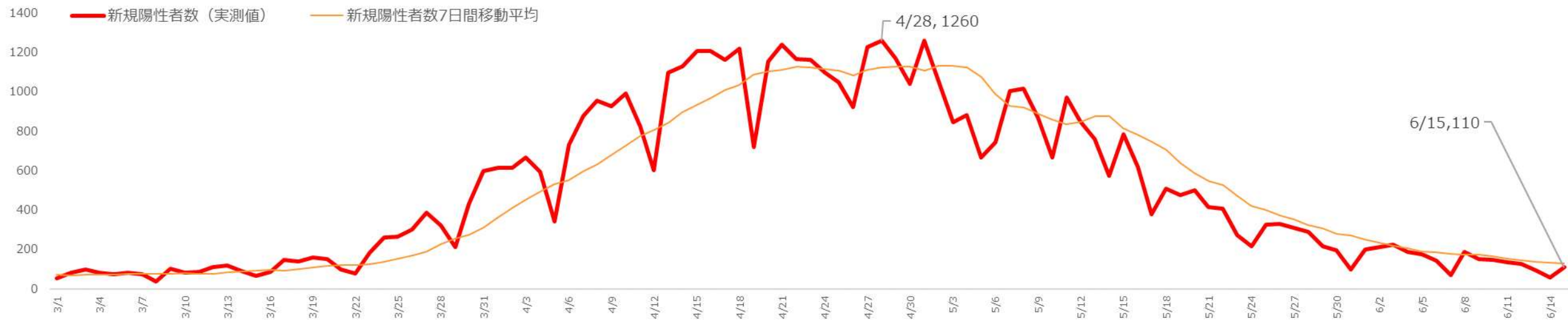


※分類は本人からの聞き取り情報による

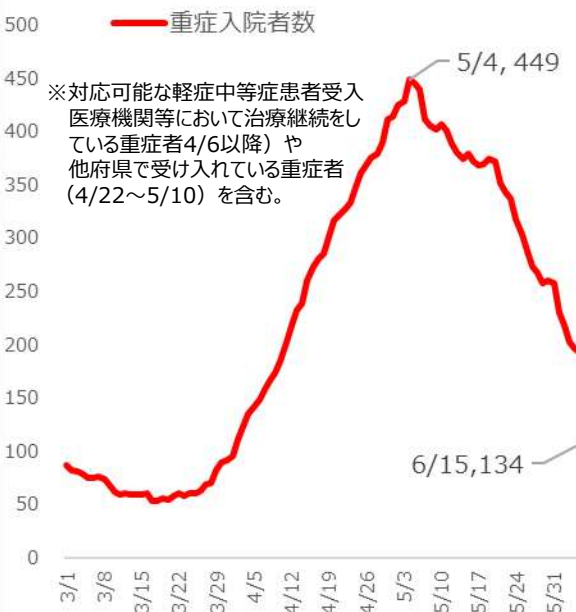
- | | | |
|---|---------------|--------|
| 6 | 入院・療養状況 | P43～47 |
| 7 | 重症者数の推移と年代別内訳 | P48～52 |

6 入院・療養状況

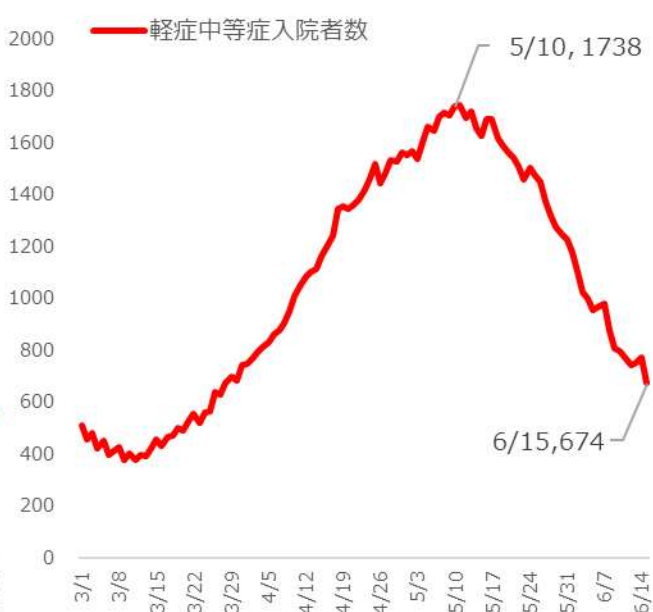
新規陽性者数と入院・療養者数（6月15日時点）



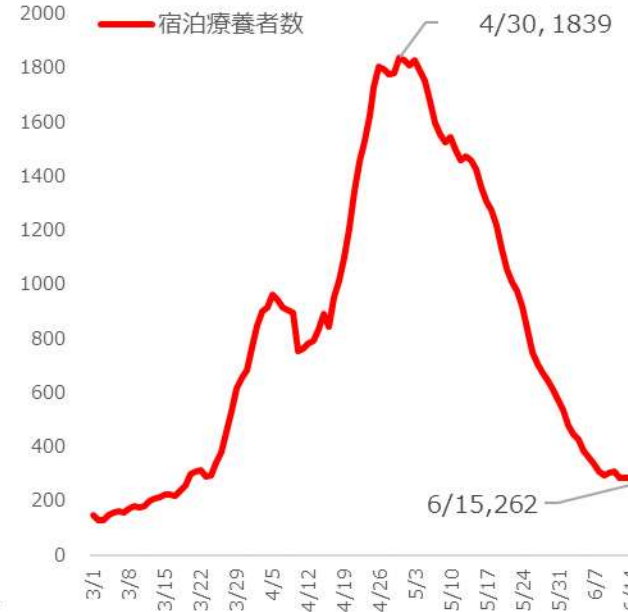
入院患者（重症）



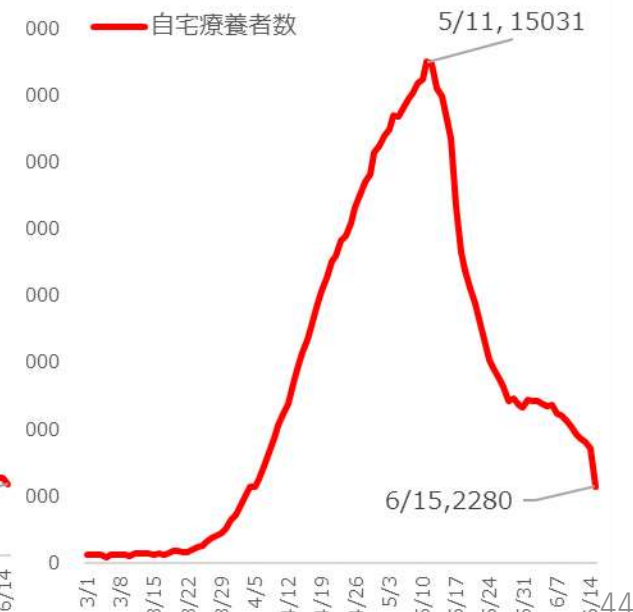
入院患者（軽症中等症）



宿泊療養者



自宅療養者



入院・療養状況（6月15日時点）

		重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
確保計画	フェーズ1	90床	1,000床	800室
	フェーズ2	160床	1,700床	1,600室
	フェーズ3	250床	2,000床	2,400室
	フェーズ4	350床	2,350床	4,000室
	災害級非常事態（目標）	500床	3,000床	—
確保数等 重症病床： 6月21日からフェーズ3へ移行 軽症中等症病床： 6月21日からフェーズ2へ移行 宿泊療養施設： 6月11日からフェーズ2へ移行		確保数 352床	確保数 2,346床	3,986室
入院・療養者数 （別途、自宅療養 2,280人）		133人※ ※上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている者 1人 （計 重症者数 134人）	675人※ ※左記1人を含む	262人
使用率		37.8% ※1 （入院者数133/確保数等352） 大阪モデルに基づく使用率は、59.4% （入院者数133/確保病床数224）	28.8% （675/2,346）	6.6% （262/3,986）
運用率		39.7% ※1 （入院者数133/運用数335） うち、大阪コロナ重症センター（15/29） （参考）40.0% 運用病床に占める重症者数割合 （重症者数134/運用数335）	28.8% （675/2,340）	7.0% （262/3,752）

※1 運用率における入院者数には、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除く。

※2 大阪モデルの重症病床使用率は、緊急事態措置中は224床で算出（5/28 第51回対策本部会議決定事項）。

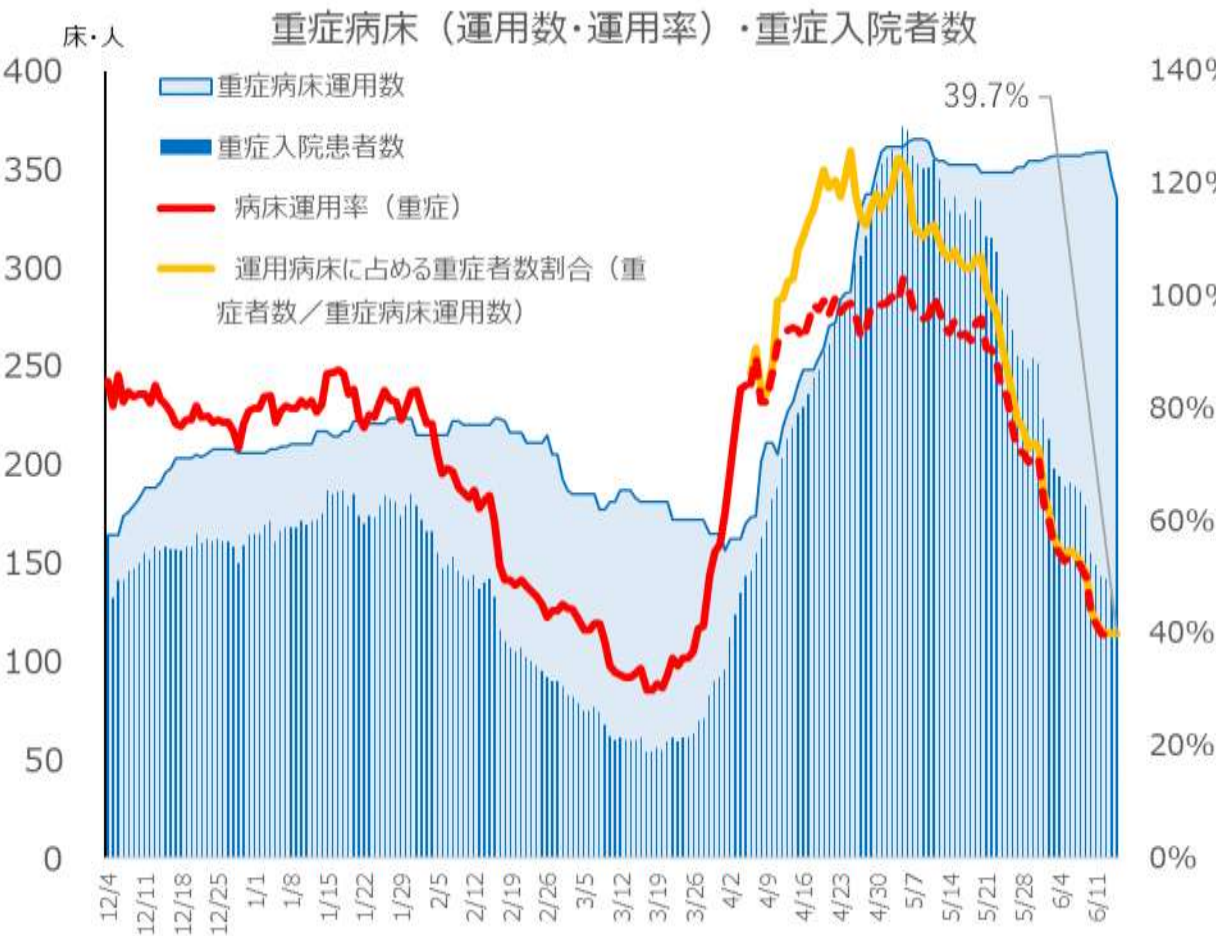
新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況

● 重症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

6月15日現在 **病床運用率39.7%**

運用病床数 **335床**※1 入院患者数 **133人**※2

※ 上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている重症者数1人(計 重症者数134人)



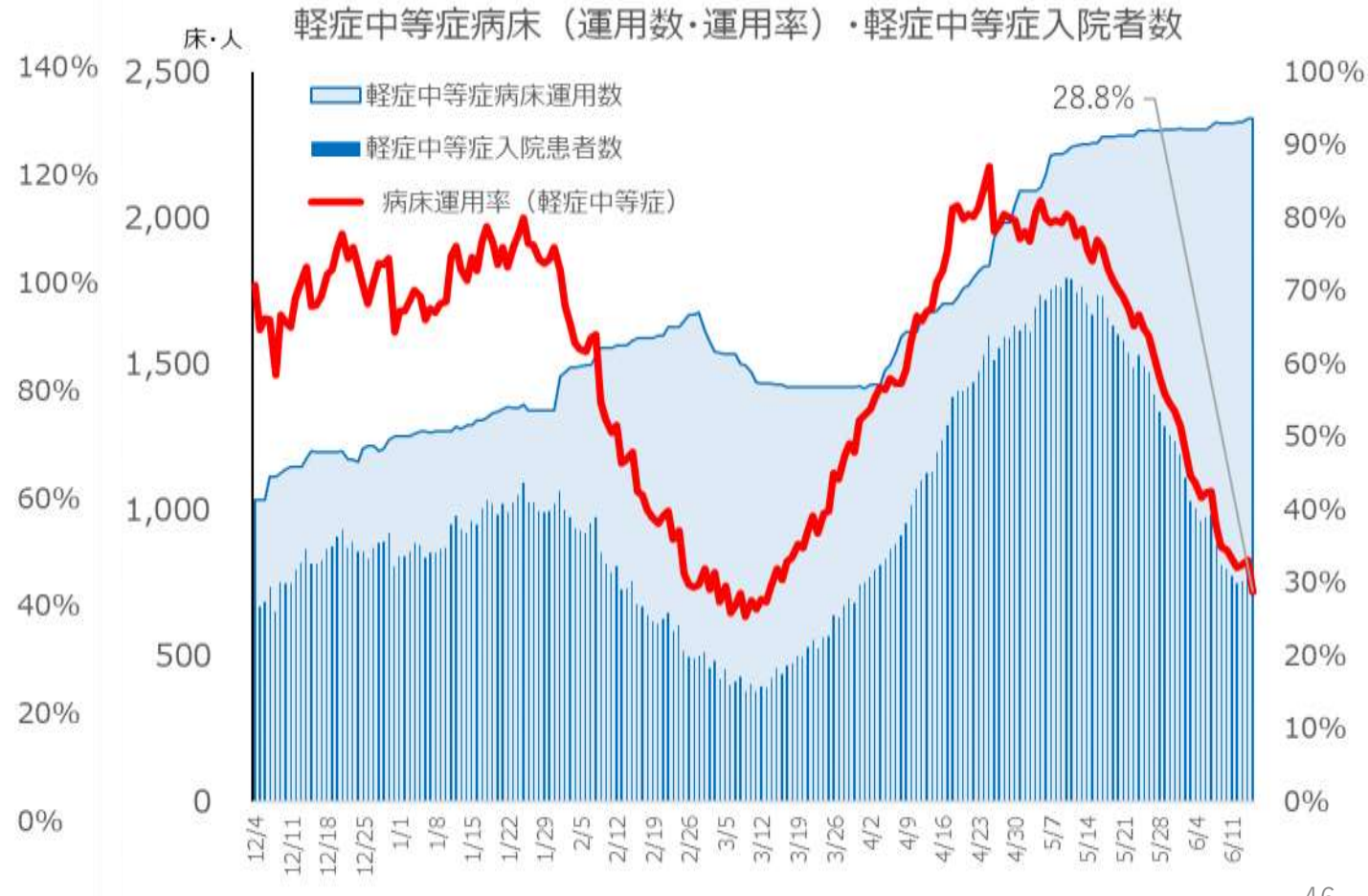
● 軽症中等症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

6月15日現在 **病床運用率28.8%**

運用病床数 **2,340床** 入院患者数 **675人**※

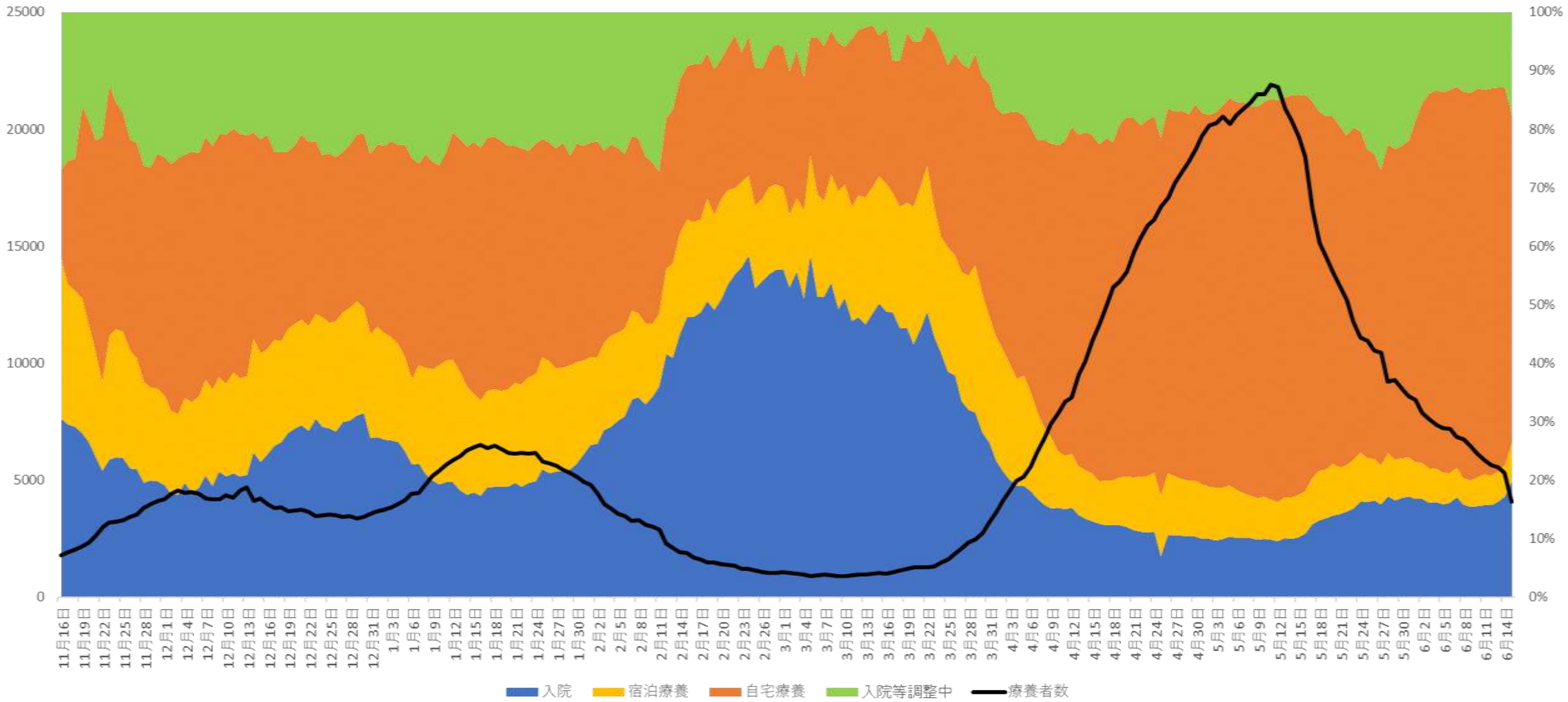
(※左記1人を含む)

・**小児・精神患者用病床等約80床を除いた運用率 約30%**



入院・療養状況（6月15日時点）

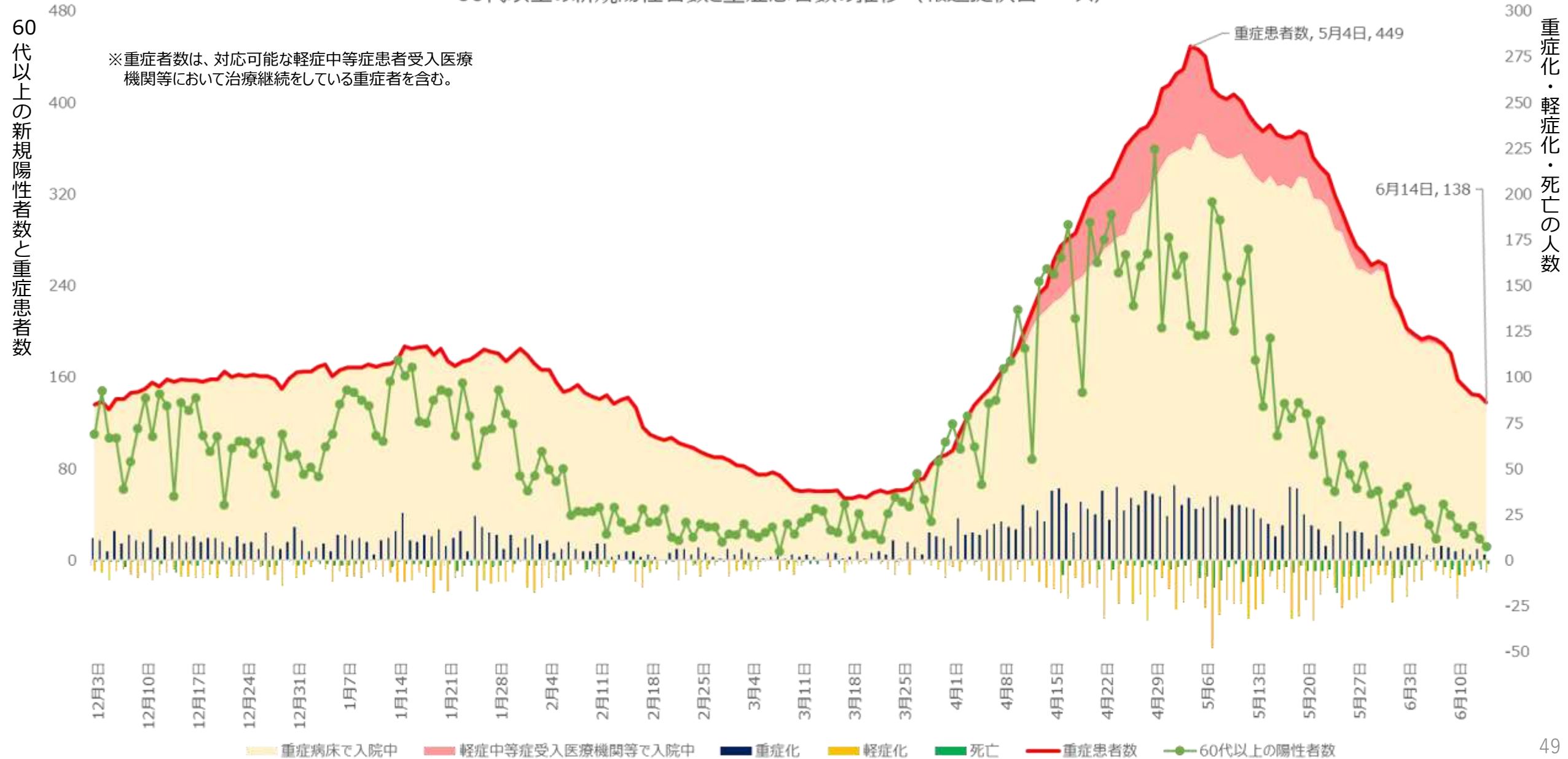
入院率は、5月12日以降増加傾向（6月15日時点 19.9%）。



7 重症者数の推移と年代別内訳

60代以上の新規陽性者数と重症者数の推移（6月14日時点）

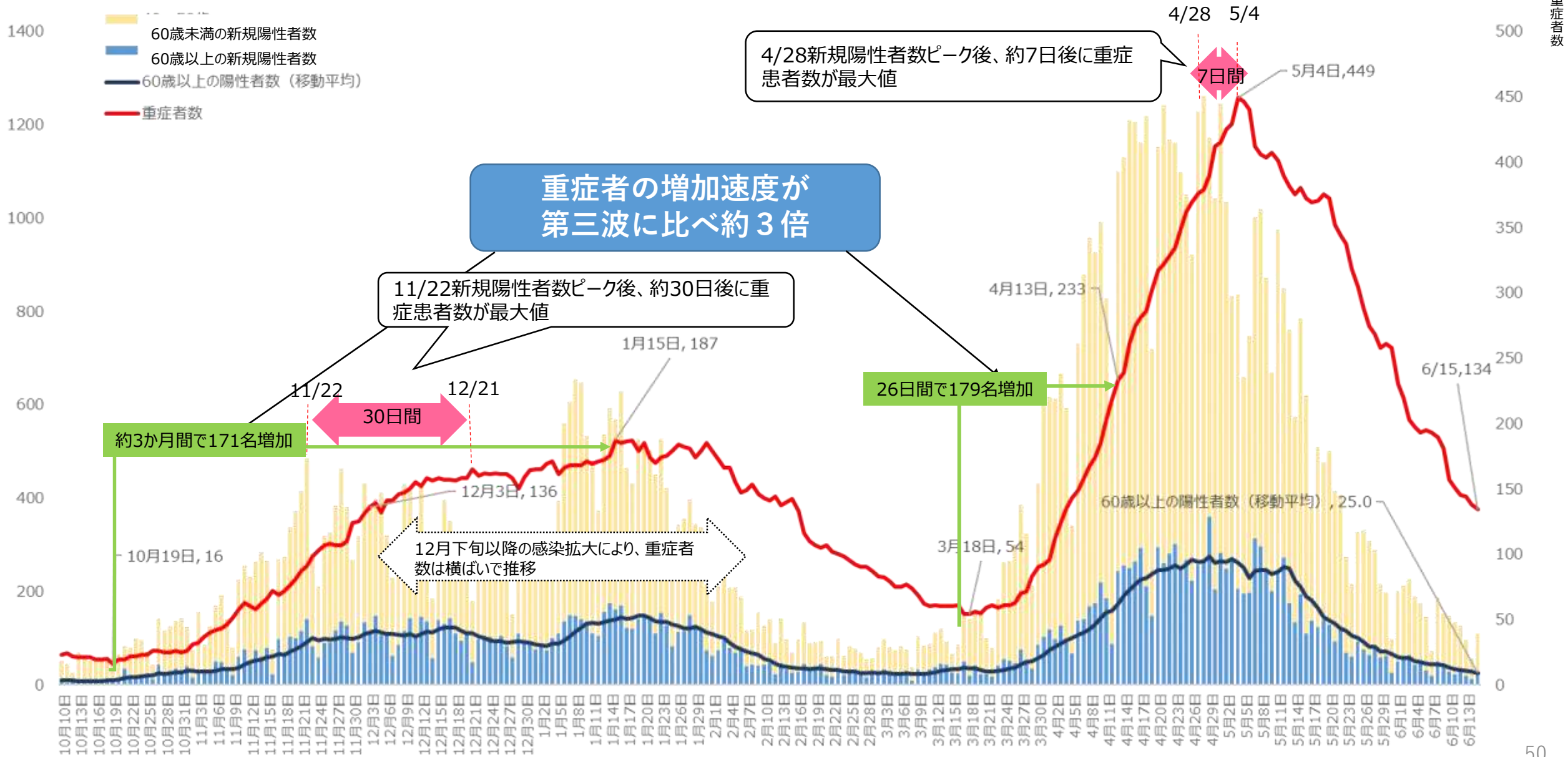
60代以上の新規陽性者数と重症患者数の推移（報道提供日ベース）



【第三波・第四波】重症者数と60歳以上の陽性者数の推移

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を含む。

陽性者数

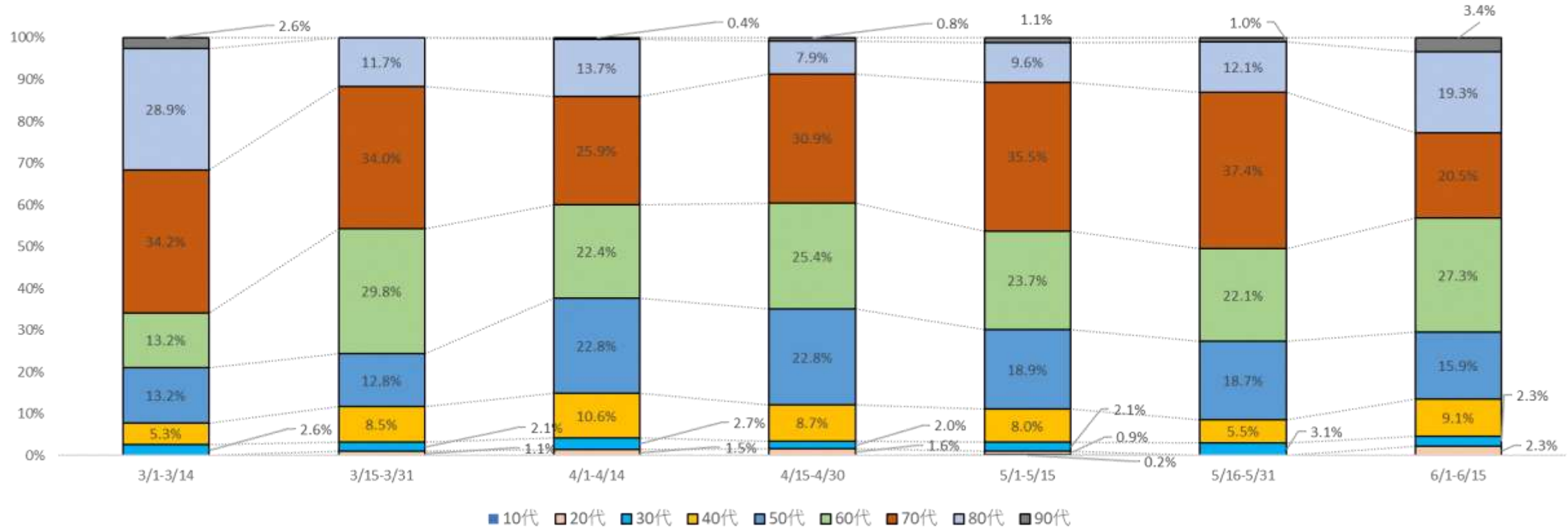


年代別新規重症者の内訳（公表日別）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を含む。

第四波では、4月以降、新規重症者数に占める50代以下の割合が増加。

※100代の新規重症者は0名



(累計38人)

(累計94人)

(累計263人)

(累計508人)

(累計439人)

(累計289人)

(累計88人)

50代以下割合 21.1%
(うち、30代以下 2.6%)

24.5%
(3.2%)

37.6%
(4.2%)

35.0%
(3.5%)

30.1%
(3.2%)

27.3%
(3.1%)

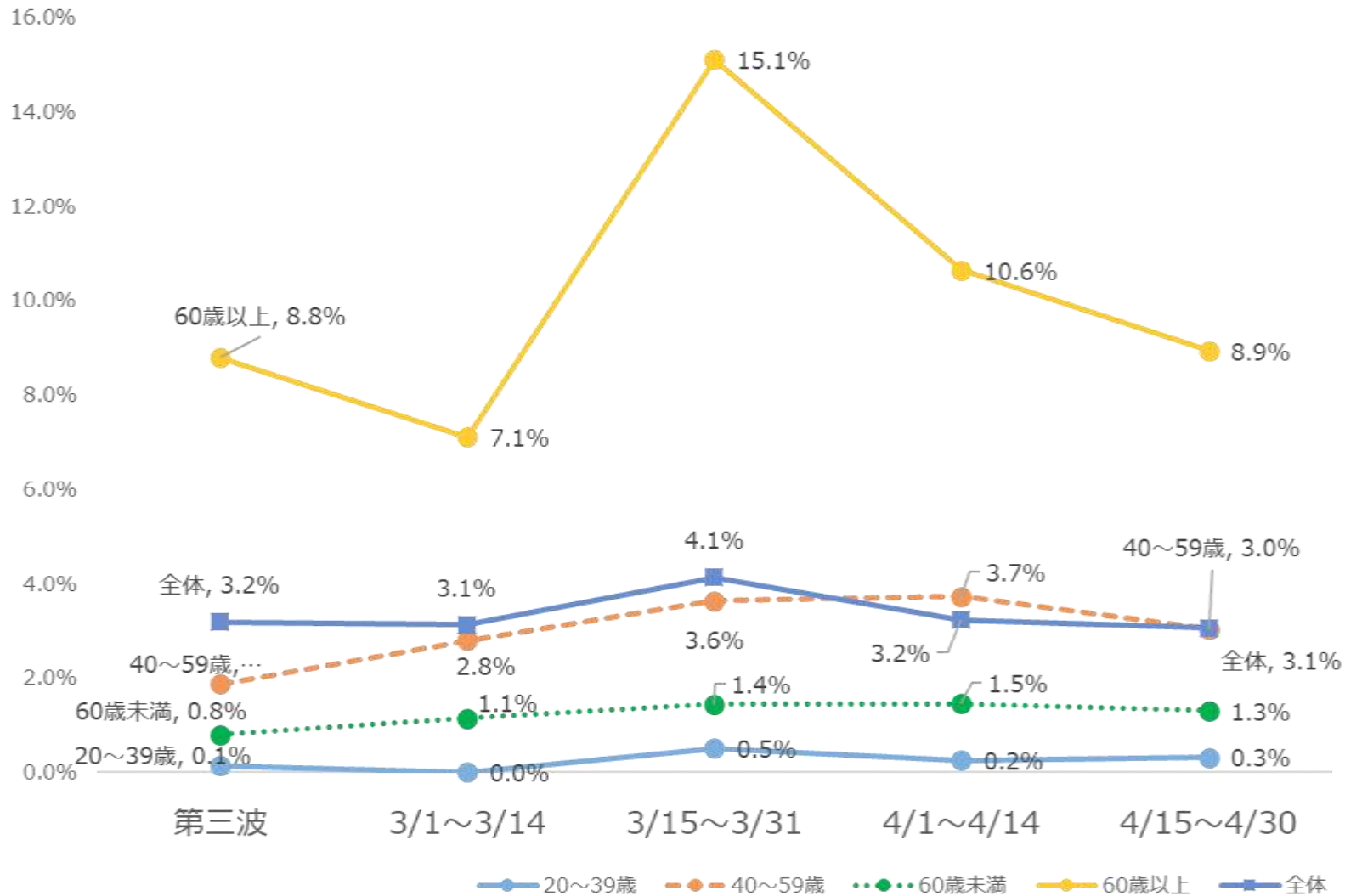
29.5%
(4.5%)

年代別重症率の推移（令和3年6月7日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6以降）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。

第三波と比べ、各年代の重症化率は高い傾向。

年代別重症率の推移



※陽性判明から重症化まで約1週間程度要することから、今後、重症者数が増加する期間

